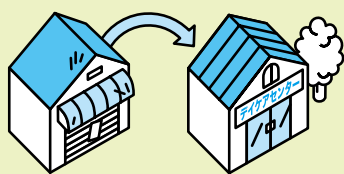


2011年度 事業計画アウトライン

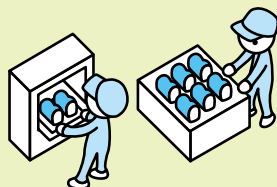
リフォームによる福祉施設の整備



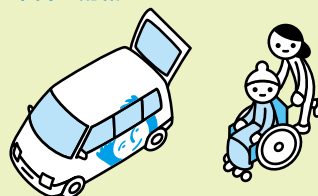
防災林の再生



障害者の就労支援



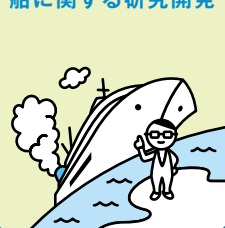
福祉車両の配備



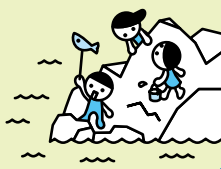
海に関わる人材育成



船に関する研究開発



海と人をつなぐ活動



青バト配備



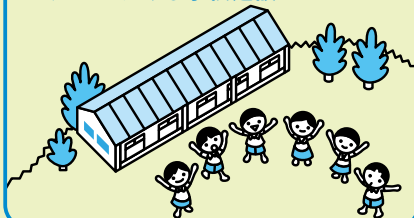
ホスピスケア



夢の貯金箱



アジアにおける学校建設



ポートルースの売上を社会に役立てています

2011

日本財団の事業 <2011年度方針>

当財団の財源であるモーターボート競走事業の売上げが依然として厳しい状況にある中、これまで同様に限られた資金を有効に活用すべく財団運営の効率化を一層図るとともに優先順位をもって事業を推進していきます。

事業の実施にあたっては、民の立場で公の仕事を実践し、より良い社会への変化の引き金の役割を果たすことを使命とし新たな事業の創造に努めるとともに、公益財団法人への移行を契機に、より積極的に広く公益活動を推進していきます。

日本財団活動指針「七つの鍵」

- 一 あまねく平等にではなく、優先順位を持って、深く、且つ、きめ細かく対応すること
- 二 前例にこだわることなく、新たな創造に取り組むこと
- 三 失敗を恐れずに速やかに行動すること
- 四 社会に対して常にオープンで透明であること
- 五 絶えず自らを評価し、自らを教育すること
- 六 新しい変化の兆しをいち早く見つけて、それへの対応をすること
- 七 世界中に良き人脈を開拓すること

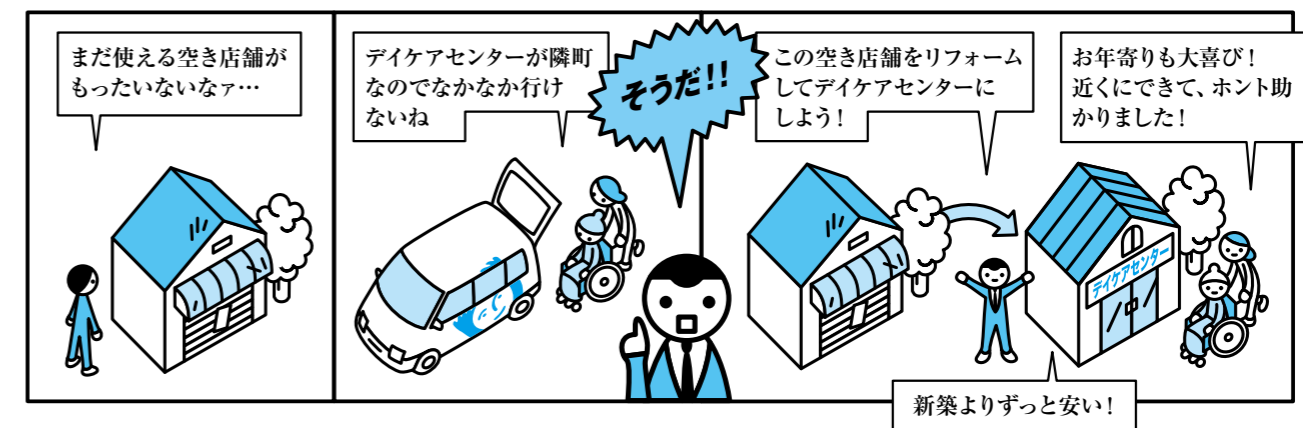
CONTENTS

事業紹介	3	公益・ボランティア事業
	10	海洋事業
	14	国際協力事業
	18	情報公開
	19	調査研究
事業一覧	21	2011年度 事業計画一覧
	22	公益・ボランティア
	37	海洋
	43	国際協力(2010年度実績)
日本財団について	45	日本財団の概要
	46	日本財団の活動資金について
	47	日本財団への交付金について
	48	2011年度 収支予算
	49	組織図

[事業紹介]



公益・ボランティア



● 社会福祉・教育・文化などの支援

「もったいない」をカタチに。

近年わが国では、地域の古き良き文化が崩壊し、人と人の絆も薄れつつあります。また人間の命や尊厳が軽んぜられる風潮も見受けられ、総じて「もの」を大切にしようとする文化や良き価値が損なわれつつあります。こうした状況下、より良い社会の創造に重要なことは、行政、企業CSRと公益セクターの三者が調和のとれた活動をしている社会であると認識しています。主に国内における公益活動やボランティア活動を支援する当グループとしては、「もったいない」をカタチにという理念のもと、これら三者の触媒の役割を果たしていきます。2011年度は下記に掲げる支援の柱に沿って事業を行います。

障害者や高齢者が自立して暮らす社会を目指して

- A** ア. 改修による地域福祉拠点整備
 1. 空き店舗や民家を活用して福祉拠点をつくる活動
 2. 既存福祉施設をリフォームして環境を改善する活動
- B** イ. 福祉車両の配備
 1. 地域での暮らしを支えるための車両の配備
 2. 障害者の就労を支援するための車両の配備

ひとり一人の尊厳が重んじられる社会を目指して

- C** ア. ホスピス・プログラム
 1. 緩和ケアナース及びドクターの養成
 2. 地域におけるホスピス活動の実践
- D** ウ. 犯罪被害者、自殺者の遺族に対する支援

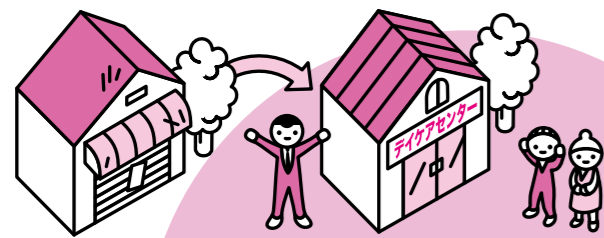
親子の絆、コミュニティ内の絆が強い社会を目指して

- E** ア. 親学「親が変われば子どもも変わる」の推進
- イ. 郷土愛の醸成を目指した郷土検定の推進
- ウ. 地域課題解決のためのチャリティ事業支援
- E** エ. 自主防犯活動の活性化を目指した青パトの配備

自然と調和し、健康で文化的な生活をしている社会を目指して

- F** ア. 農業復興のための先駆的な仕組みづくり
- イ. ボランティア参加型の間伐材の搬出システムの構築
- G** ウ. 防災林としての鎮守の森、学校林の再生
- エ. 大学などの地域資源を活かした社会貢献支援

A ~ **G** このマークは 2011 年度、支援の柱として日本財団が重点を置いて支援する事業です。次ページ以降の同じマークのある場所で詳しく紹介しています。



公益・ボランティア

● 社会福祉・教育・文化などの支援

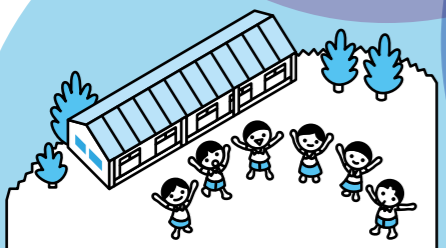
<公益・ボランティア支援関係事業>
障害者の自立支援、改修による福祉拠点の整備、福祉車両の配備、ホスピス・プログラム、子どもの健全育成、環境保全、災害援助、芸術文化や生涯スポーツの推進、犯罪被害者支援など、国内において、地域に密着した活動を支援しています。



海洋

● 海や船にかかわる活動への支援

<海洋関連事業>
日本が海洋国家であることを踏まえ、船舶・海洋に関する研究開発、航行安全・海洋環境保全等に関わる諸問題に取り組む活動、青少年への海事知識の普及、海に関わる人材育成などの支援を地域や多様な関係者とのつながりを活かしながら行っています。また、造船産業の振興を目的として、造船事業者に対する資金の貸付を行っています。



国際協力

● 海外における人道活動や人材育成への支援

<海外協力援助事業>
国際機関、各国政府、NGOなどと協力し、人々が直面する貧困、飢餓、病気などの基本的諸課題の解決や社会発展を担う人材の育成とネットワーク構築を目指した活動を展開しています。

情報公開

<情報公開事業>
ポートルースの交付金が、日本財団を通じてどのように役立てられているかを広く情報提供する事業です。

調査研究

<調査研究事業>
助成事業の質的向上を図るため、社会や時代のニーズに対応した新たなテーマについて、日本財団が自ら調査研究する事業です。



改修による 地域福祉拠点整備



福祉拠点の整備

お年寄りや障害のある方が、いきいきとした生活をおくるためには、自分の利用したい福祉施設が選択できる環境を整えることが大切です。例えば、家庭的な雰囲気の中でケアを受けながら生活できるグループホーム、障害を持ちながら日々やりがいを持って働ける就労支援施設などです。しかし、それらの施設が全国で十分足りているというわけではなく、地域によっては、利用したい施設を選べないどころか、施設そのものが存在しないことすらあります。

そこで、日本財団は、限られた資金でより多くの施設をつくるため、リフォームという方法を選びました。シャッター街になってしまった商店街、廃校や空き家など、周りを見渡せば使われていない建物がたくさんあることに気がきます。その中には、バリアフリー工事やレイアウト変更など、少し手を加えるだけで、福

祉施設として活用できるものが多くあります。そのような建物をリフォームし、福祉施設を増やすことで、できるだけ多くのお年寄りや障害のある方が、自分にあつた施設を選べるよう積極的に支援していきます。

福祉と地域づくりの新しい関係

例えば、障害者が働く喫茶店や地域のコミュニティサロン、あるいは障害のある方などが創られたユニークな作品を展示する美術館などをつくることで、そこに賑わいが生まれ町の活性化に繋がることも期待しています。

▼ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市)



福祉車両の配備



障害の有無や年齢にかかわらず、すべての人々が地域で暮らすことのできる社会を目指して、福祉車両の配備を行っています。2010年度には新たに、福祉施設で製造されているパンやお菓子などの食品を運ぶための「冷蔵車」をラインナップに加えました。

2010 年度実績	
ヘルパー車	190 台
車いす対応車	811 台
送迎車	430 台
送迎バス	74 台
バン	181 台
トラック	83 台
冷蔵車	58 台
合計	1,827 台 2,626,760 千円

また、2006年度より配備を開始した移動販売車による各施設の取り組みもますます広がっています。うどんやラーメン、さらにジェラートや五平餅など、地域の特徴を活かしたオリジナリティ溢れる商品が、緑の笑顔マークに乗って全国各地で販売されています。

▼アイスクリームの移動販売車



手話の社会的普及にむけて

手話はろう者の第一言語で、話し言葉や書き言葉とは違う独特の文法を持っています。2006年に国連総会で採択された障害者権利条約では「手話は言語である」と定義されており、音声言語と同等の扱いを受けるべきだとされています。そして多くの国では、法律で手話は言語であると認められています。しかしながら、日本では、手話やろう者に対する十分な理解が得られていないため、教育の現場で手話が排除されてきました。

そのため、日本財団は、日本手話による教育の普及・促進にむけての事業を行っています。例えば、日本で唯一バイリンガル・ろう教育を実践している(学)明晴学園では、幼稚部～中学部までのろうの子供たちが日本手話で授業を受けています。また(特)北海道バイリンガルろう教育を推進する会では、公立のろう学校における日本手話による授業の普及を目指し、

活動を行っています。また大学においては、(学)日本社会事業大学で、ろう当事者講師による講義等を行い、ろう学生支援のモデルとなることを目指しています。

そして、このような日本手話による教育の普及に向けて、手話言語法(仮称)制定への取り組みを、(財)全日本聾唖連盟と開始しました。手話は言語であると法律で認められることで、今まで以上にろう者が自らの言語で教育をうけることが可能になり、学力の向上、社会参画に繋がることを期待しています。

▼手話による講義



『真心絶品』—福祉施設製品 ブランド化プロジェクト—

真心絶品は、障害者施設で作られた製品の中から本当に優れたものだけを厳選し、その魅力を多くの人に知って頂くためのプロジェクトです。全国から集まる製品を各分野の専門家で構成する審査会にかけ、品質や物語性などの観点から一つ一つ吟味し、ブランド認定を行っています。

真心絶品は、
売り手:「福祉だからしょうがない」を「福祉だからこそ誇れるものづくり」に
買い手:「かわいそうだから買う」を「品質が良いものだから買う」に
世間:「障害者だから支援が必要」を「障害者だから人を引きつける」に変えていきたいと考えています。
 そのためのアプローチとして、
 1. 良いものを皆様にお届けし、喜んで頂く。

2. 障害者がいきいきと働いていることを知って頂く。
 3. 障害者の経済的・社会的自立につなげる。
 4. 障害のあるなしに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会をつくる。
 という順番で、障害者のくらす・はたらくをあたりまえのものに近づけていきます。

magokoro-zepin.comでは、常時300以上の商品を取扱っています。さらに、実際の商品が手に取れる実店舗も生まれています。例えば、大阪府高槻市の物産館や山口県のショッピングセンター内に、障害者就労支援事業の一環として真心絶品を販売する店舗が開店しました。

今後も引き続き、ノウハウ提供や機器整備助成によって福祉施設のものづくりのレベルアップを図り、一般市場に通用する逸品を次々と世に送り出していきたいと考えています。

▶大阪府高槻市の店舗





発達障害者への支援

発達障害のある方は、全国に700万人とも言われています。発達障害は、先天的な脳の障害で、コミュニケーションや対人関係に困難さを持ちます。そのため、学校や職場で人間関係を築くことが難しく、トラブルを引き起こしてしまうことがあります。また、仕事が続かない、続けられないなどの問題もあります。軽度から重度まで、障害の幅こそあるものの、それぞれに個別の困難さを抱えています。

一方で、2010年12月に成立した障害者自立支援法の改正案では、障害者の定義に発達障害も含まれることが明確化されるなど、発達障害のある方への支援体制は、徐々に整いつつあります。地域によってばらつきはあるものの各地で様々な取り組みが行われるようになりました。

しかしながら、発達障害のある方が、より良い生活を送れるようになるためには、法律や支援体制を整え

るだけでは十分ではありません。私たち周囲の人間が発達障害を正しく理解し、協力していくことも重要です。周囲の人間が、その人の困難さをしっかり把握し、障害の特性に配慮することで、コミュニケーションや対人関係を苦手とする発達障害のある方の困難さを緩和することができます。「発達障害」という言葉自体は、最近よく耳にするようになりましたが、具体的に、どのような特性があって、どのようなことに困っているかを理解している人は多くありません。

日本財団は、発達障害のある方が、より良い生活を送れるようになるために、発達障害への正しい理解を促進するための活動を支援しています。



緩和ケアナース及びドクターの養成



ホスピス緩和ケアとは、「人生をよりよく生きる」ためのプログラムです。それは、エイズやがん末期患者だけのものではなく、死ぬための施設を意味するものでもありません。

それは、いつでも、どこでも、誰にでも、ケアを必要とする全ての人に提供されるべきものであり、患者一人ひとりの人生の質を向上させるためのものです。

ホスピス緩和ケアにおいては、医師のみならず長時間患者のケアにあたる看護師の役割がとても重要です。看護師は、死が迫った患者の痛みを軽減するために身体的ケアを施すだけでなく、患者やその家族の悲嘆や苦悩の理解に努めながら、精神的・心理的ケアを行います。これらのケアを十分にいくためには、経験もさることながら専門的な教育を受けることが必要です。

日本財団は、大学や看護協会等の教育機関と連携

し、ホスピスマインドを持ち指導的役割を果たす緩和ケア認定看護師・訪問看護認定看護師約2,800人を養成し、全国の医療現場で患者やその家族を支えています。またあわせて、現役医学生向け教育として自治医科大学医学部にてホスピス緩和ケアに特化した教育プログラムも実施しております。

施設整備においては、ホスピス緩和ケア病棟を、全国に13カ所整備したほか、老々介護や独居などの理由で自宅での介護が困難な高齢者や末期患者のための限りなく家に近い終(つひ)の住処である「ホームホスピス」の普及に力を入れています。

▼日本財団ホスピスナース研修会



犯罪被害者に対する支援



自分自身は何も悪くないのに…ふとしたことで凶悪犯罪に巻き込まれ、たちまち被害者となってしまような事件が後を絶ちません。犯罪者は法で裁かれるものの被害者は、見えない心身の被害や社会生活面での苦難を長きにわたって負うことになります。

日本財団では、そのような被害者の方がおかれている状況を少しでも改善・軽減、回復するために、民間の被害者支援センターが設立され、事業を展開していくことが必要であると考え、被害者支援センターの設立支援を進めてきました。1997年より都道府県に順次設立された民間の被害者支援センターは、これまで48団体、支援総額は約8億7,300万円にもなっています。

そこで本事業における最優先の目標は、各都道府県の公安委員会が指定する犯罪被害者等早期援助団体[※]の指定を受けることです。この指定を受けるため

には、団体の基盤強化や相談員の確保や人材育成、施設整備等が必要とされ、それらを達成するための支援を優先させてきました。さらに、早期援助団体に指定された後は、被害者からの相談や裁判所等への付き添いをするための相談・直接支援の数が急激に増えるため、相談・直接指導員といった人材育成に力点を置いて支援を行っています。

現在、これまでに支援を行ってきたセンターの中で35のセンターが早期援助団体の指定を受けています。私たちは、全国の各センターが早期援助団体の指定を受け、自立した事業が行えるよう支援を続けています。

※被害者等の同意を得て、被害者等の氏名、住居、犯罪の概要等に関する情報を道府県警察本部長又は警察署長から得られる団体。



▶被害者との面談

地域のつながりの形成を目指した青パト購入事業の推進



様々な事件が連日報道され、その発件数は枚挙に暇がありません。地域のつながりの希薄化も、その一因と言われています。

そのような状況の中、青パトによる防犯活動は、地域のつながりを形成し、地域の安全を守ることに繋がると考え、2007年度より青パト車の購入を支援しています。これまで、33都道府県において87台を支援してきました。

福岡県筑紫野市で活動する御笠青色パトロール隊では、地域のより多くの人々や団体を巻き込む仕組みを構築し、パトロールを行っています。青パト事業を開始する際に、地域のすべての団体を回り協力を仰ぎました。また、老若男女誰でも気軽に参加できるように、夜間のパトロールを行う夜パト、災害発生時や事件が起きた時に警察と協力して行う臨時パトなど8通りのパトロール方法を編み出しました。現在で

は独居高齢者の自宅の見守り活動も実施しています。これらの工夫により、パトロール隊員は地域の様々な団体で構成され、高校生から高齢者まで多岐にわたる世代が協力して活動しています。

このように、地域の学校やPTA、NPO、観光地の商店街等と協力してパトロールを行う取り組みが各地で始まっています。

今後も本事業への支援を通じて、様々な団体がお互いに協力し合い、地域のつながりを構築することで、地域の安全を守ることを目指します。

▼青パトの出発式





農業による 地域づくり支援



現代の日本の農業は、従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱えています。一方で、農業は多くの地域において主要な産業であり、農業の活性化は地域の活性化にもつながると考えられます。

そこで、農業を通して地域づくりを図るための新しい取り組みに着目しました。就労世代を中心とした多様な人材が農業に参加する環境の整備、生産者と消費者の意識向上による新しい協力関係の構築、地域独自の農業文化や魅力・特性を活かした取り組みなどにおいて、新しい仕組みをつくる事業を支援しています。

福島県昭和村では、従来より、「結」と呼ばれる地域コミュニティの仕組みによって豊かな農村生活が営まれていました。しかし、近年では高齢化・過疎化が深刻さを増し、「結」の存続が危ぶまれています。そ

こで、同村で活動する(特)芋麻倶楽部では、「地域づくりと農業の両方を担う人材」の育成を行っています。20～30代の若者を中心に、地域活性化の事業企画から生産物の販路拡大まで行える農家を育てることで、将来的には同じ課題に悩む全国で応用できる人材育成プログラムのモデルを構築しようというものです。

他にも、多様な収入源確保による中山間地への移住就農の促進や、地域独自の生態系を活用した農業の仕組みづくり、地元の未活用資源の掘り起こしによる農業復興、都会で暮らす農家の息子に対する帰農支援など、各地でユニークな取り組みが始まっています。

▼耕作放棄された畑を1枚ずつ再生し、就農促進に活用



防災林としての鎮守の森、 学校林の再生



日本の92%以上は照葉樹林域です。シノキ、タブノキといった照葉樹の特徴は根をまっすぐ深く張ることから揺れに強く、降雨により浸透した水は豊かな土壌層が保水し洪水を防ぎます。水分を多く含む葉は防火木の効果もあります。こうした日本の土地本来の樹木は都市化の影響などで多くが伐採されましたが、1995年の阪神・淡路大震災発生時に倒壊する家屋や周囲の火災から人々のいのちを救ったことから災害に強いことが証明されました。

このような特徴を活かし、世界各国で植樹活動を行う宮脇昭・(財)国際生態学センター所長の協力を得て、2009年から土地本来の樹木による学校の防災林の再生、鎮守の森(神社)の再生といった「防災のための植樹」に取り組んでいます。これまでに7カ所の学校、2カ所の神社で植樹を行いました。特に、学校は広域避難場所に指定されていることも多く、困ら

ように植樹することで防災効果を高めることができます。父兄や近隣住民も参加することで地域防災について改めて考える機会となり、子どもたちが愛校心を育むきっかけにもなります。

植樹方法は、高さ30センチメートルほどのポット苗を1平方メートルあたり3本ずつ、高木から低木まで30種ほどを混ぜ合わせて植えます。5年で4メートル、10年で8メートル以上の高さになります。

2011年度は福生市、豊島区の学校などで実施し、引き続き防災林の再生に取り組んでいきます。

▼神戸市須磨区の学校で行われた植樹祭



学生ボランティアへの 支援活動

大学生の社会貢献活動へのニーズは高く、多くのサークルを通じて学生が国内外に存在する問題の解決に向けて活動を行っています。学生時代にボランティアやNPO活動の大切さを体験的に学ぶことは、ボランティアへの理解をさらに深めるとともに、若い発想をさらに伸ばし、山積する社会問題の解決を担う人材の育成につながると考えられます。

しかしながら、学生ボランティアを支援する組織を設置している大学は全国でも極めて少なく、学生が新しい活動を始める際の相談窓口や事業実現に向けてサポートする体制は十分ではありません。

そこで、2010年度より日本財団学生ボランティアセンター(Gakuvo)を立ち上げ、学生インターン自身が自ら学生ボランティアを支援する事業を企画し実行することを通じて、学生ボランティア全体のレベルアップを図っています。

Gakuvoは学生ボランティアの社会的発信力を養成するPRカコンテストや学生ボランティア団体のリーダーのサポートを行うセミナー等を開催しています。

当団体への支援を通じて、ボランティアやNPO活動の重要性を体験的に学んだ若者を社会に輩出し、ボランティアの社会的認知度や支援の充実を図り、社会を変革していくことを目指します。

▼リーダーセミナーの様子



寄付文化の醸成と非営利組織の 資金開拓力の強化

NPO法人などが活動を継続していくためには安定した収入が必須ですが、寄付者の数や会費収入の伸び悩みといった資金調達の壁は多くあります。資金調達の難しさは、日本における寄付の実態が不明確で寄付市場の全体像が把握できずにいることが要因のひとつとされています。

2011年2月に発行された『寄付白書』は、日本で初めて寄付者の特徴や傾向を調査し、実態を明らかにしたことで注目を集めました。ファンドレイザー*はこれまでよりも寄付先開拓のための戦略を練りやすくなったと言えます。

白書を発行した日本ファンドレイジング協会は、ファンドレイザーが誇りと自信を持って資金調達を行い、寄付者が寄付による満足を実感できる社会づくりを目的に2009年に設立されました。全国のファンドレイザーが集まる大規模なイベント「ファンドレイジ

ング・日本」のほか、公開セミナーやもっと深く学びたいという会員向けの研究会を定期的に開催しています。諸外国のファンドレイジング協会とも連携し、より資金調達をスムーズにする制度の整備も検討しています。

2011年度は新たに埼玉県の中学校など20校でフィランソロピー教育を実施します。子どもたち自身で社会の課題を考え、それを解決するために寄付ができることを感じてもらいます。これらの取り組みを通して、寄付が当たり前とされる社会を目指します。

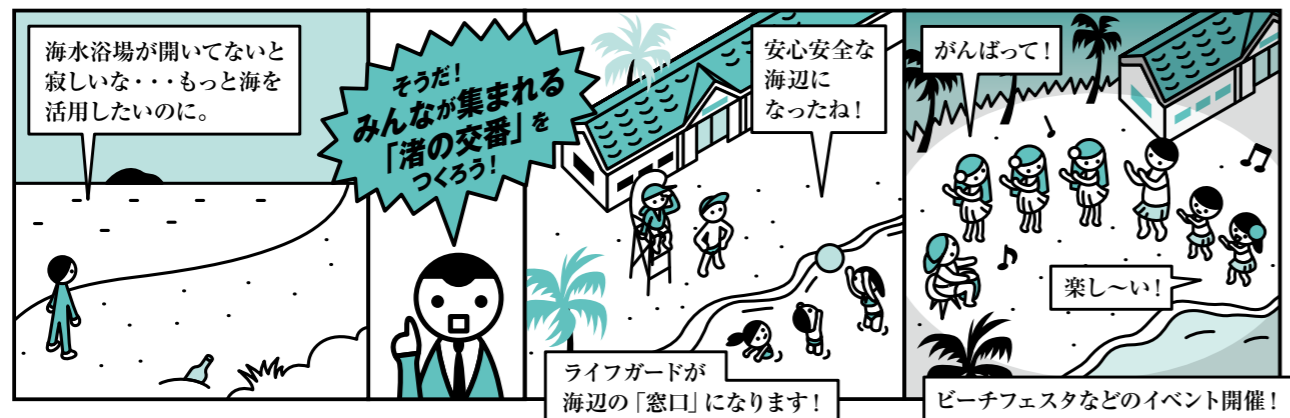
*主にNPO法人などの非営利組織において、健全な運営のために資金を調達する仕事を担っている人のこと。

▼ファンドレイジング大賞の表彰式





海洋



● 海や船にかかわる活動への支援

次世代に海を引き継ぐために。

様々な要素が複雑に絡み合う海洋の問題の解決には、地球規模の連携とそれを担う人材の育成が必要となっています。わたしたちは、次世代に豊かな海を引き継ぐために、国の内外において、海洋の総合的管理の視座のもと、国際的課題に的確に対処できる人材の育成、海洋の利用と環境保全の調和を図る活動や産官民学等の多様な関係者との連携を推進するとともに、地域のつながりを活かしながら各種制度構築や社会的な環境整備を行うため、次のテーマを柱に支援します。

A 船舶、海運に関する技術の研究・開発と産業の基盤強化

世界的に高まる環境問題に対応する技術の研究開発や国際基準等の作成、海外における積極的な情報収集などを行うことや技術の伝承及び人材育成等、産業基盤の強化を図るための活動。

海洋に関する研究及び情報・体制の整備

- A. 国際的な海洋問題に効果的に対処するために必要な知識、能力を持った人材の育成を図るため、大学や国際機関等との連携をとりながら、次世代に向けた学際的な講座の設置など教育及び研究を推進する活動。
- B. イ. わが国の「海洋基本法」の制定に伴い、「海に守られた日本から、海を守る日本」に向けて、陸からの視点ではなく海からの視点に基づく総合的な海洋政策の立案・実行を積極的に推進し、支えるための民間の活動。
- C. ウ. 地球規模で進行する漁業資源の減少に対処するために必要な、総合的、持続的な資源管理の取り組み。

D 航行の安全確保及び海上災害対策

マラッカ・シンガポール海峡の国際的な安全管理体制を促進させる事業など、航行安全、海洋環境保全等に関わる諸問題に取り組む活動。

海・船に関する国民の理解促進

- 生活をとりにく様々な場や機会を利用して、専門家や研究者にとどまりがちな海・船の知識や重要性を広く一般に普及・啓発するための活動
- A. 博物館等が行う海や船に関する企画展の開催や造船所の見学会、体験学習等を通じた理解促進活動
 - イ. 海に親しむ活動の推進
 - E. ウ. 海とともに暮らしてきた人々の生活文化や技術の後世に継承するための活動や地域の発展を目指す持続可能な活動

このマークは2011年度、支援の柱として日本財団が重点を置いて支援する事業です。次ページ以降の同じマークのある場所で詳しく紹介しています。

個人用搜索救助用ビーコン (PLB) の技術開発



私たちは火事に遭遇した時、何をしましょうか。まず、119番に通報し「どこが火事なのか」を連絡するでしょう。しかし、船の上ではどうでしょう。携帯電話で118番(海の110番)に通報して、自分のいる場所を伝えることができますか。仮にできたとしても、海を漂流して通報した場所から遠く離れてしまうかもしれません。

そのため、海で遭難した時に、位置を知らせるための機器が開発されていますが、小型船舶には搭載する義務がないため、多くの船が携帯電話に頼っています。しかし、海では携帯電話が通じる範囲が限定され、耐水性が低く、水中に落とした場合沈んでしまうという問題もあります。

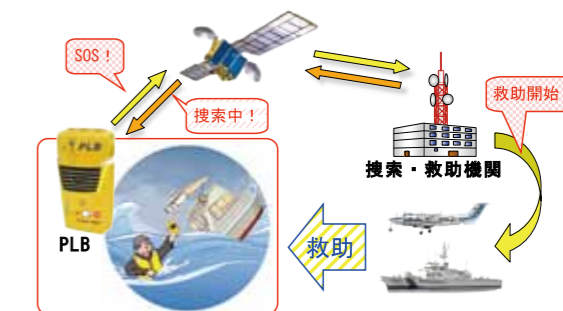
この事業では、小型で低価格の個人用搜索救助用無線標識(PLB: Personal Locator Beacon)を開発します。PLBは衛星を利用して、小型船舶等の

遭難に際し、直接、搜索機関(日本の場合、海上保安庁)に遭難信号を送信し、遭難した位置を特定します。

PLBは、すでに製造されていますが、この事業では世界に先駆けてリターンリンク機能付きのPLBを開発します。この機能は、遭難者の位置情報などを搜索機関に送り、搜索機関はその情報が誤報でないか確認するため、遭難者に確認の信号を送るというもので、本当に遭難したのか、誤発信によるものなのかの確認がとれ、迅速かつ適切な搜索・救助活動が可能となります。

日本からリターンリンク機能付きのPLBを世界に送り出すことにより、多くの人命救助が期待されます。

▼衛星通信を利用した次世代の個人用搜索救助システム(イメージ)



造船関係貸付事業



四面を海に囲まれた日本において、「船」は海外との輸出入貨物の99.7%の物流を担っているだけでなく、国内でも貴重な交通・物流手段であり、我が国の経済や生活を支えるライフラインとして、なくてはならない存在です。また、温室効果ガスの排出量が自動車やバスよりも少ない「船」の利用は、今後ますます重要となってくることが予想されます。

このように、日本のみならず、世界中に必要な「船」を製造する造船業は、我が国が世界に誇る基幹産業でもあります。

日本財団では、創設以来48年間にわたり、「船」を製造する造船業や関連工業を営む方々に対して、経営基盤の強化を図り、さらなる造船・関連産業の発展を目的に、必要な事業資金に対して、低利の融資制度を実施してまいりました。具体的には、造船所や工場などの近代化・合理化のために必要な「設備資

金」と、資材の仕入れ、諸経費等のため安定的に必要な「運転資金」を長期・低利で融資する制度です。

融資の方法は、造船関係事業を営んでいる方々のお申し込みにより、融資を必要とする資金を当財団が金融機関に貸付け、貸付けを受けた金融機関がその資金を事業者の方々に融資するという仕組みで行なわれます。2011年度の募集は、設備資金・運転資金が各2回、融資利率は2.2%以内で実施します。

日本財団は、造船・関連産業の発展を目的として、造船関係貸付事業を実施しています。

▼造船業は日本が世に誇る基幹産業





海を活かした教育に関する実践研究等 (日本財団海洋教育プログラム)



2007年に施行された海洋基本法の28条には、海洋教育の推進が明記されているにもかかわらず、現実的には海洋教育が進められているとは言えない状況にあります。学習指導要領にも「海」を題材とする学習が表記されていないうえ、海洋教育の知識を修得した教員も育成されていないのが実状です。

日本財団は2010年に「海洋教育促進研究センター」を東京大学に設置し、小・中・高等学校レベルでの海洋教育の推進に取り組んでいます。このセンターは、海洋教育カリキュラムの開発や海洋教育を実践研究する人材の育成、教育政策への提言を目指した研究を行うとともに、全国の海洋教育の拠点となる大学と連携するハブ機能を果たします。

現在、センターと連携している拠点校の一つに琉球大学があります。琉球大学は、教育学部を中心に、附属小・中学校を実践研究の現場として、マリンス

ポーツは勿論、数学や歴史だけでなく、家庭科や美術など様々な教科で「海」をテーマとする授業を実施しています。こうした取組が積み重なり、カリキュラムの開発や人材育成に必要な資料や方法が蓄積されることにより海洋教育が促進され、将来的には学習指導要領に「海」という言葉が明記されることが期待されます。2011年度では、琉球大学の他、横浜国立大学等でも海洋教育の実践研究を実施します。

日本財団は、海洋基本法の理念を具現化するため、海洋教育を推進する事業を支援しています。

▼小学校で実践されるスノーケリングの授業



「ネレウスプログラム」 ～未来の海を考える～



「ネレウス」とは、ギリシャ神話の海神であり、海を鎮め、未来を見通す力があつたといわれています。これにちなんで名付けられた本事業は、地球規模で魚資源と海の未来を予測し、次世代に豊かな海を引き継ぐことを目指しています。

我々日本人は回転寿司店で安価で美味しい寿司を食べられたり、日常的に魚がスーパーに陳列してある光景を当たり前と思う一方、世界的にマグロが減少していたり、日本近海で獲れていた魚が獲れなくなったというニュースをよく耳にします。実際、世界の海の中はどうなっているのでしょうか？これからも我々は魚を食べ続けることができるのでしょうか？

残念ながら、この問いに科学的な根拠を持って答えられる人はほとんどいません。これまで行われた未来の海に関する予測はある地域の断片的な海の悲劇を映し出していますが、世界の海は断片ではなくひ

とつにつながっています。その多様な生物と物質のつながりによって構成される未来の海の全体像はいまだ正確に予測することができていません。それどころか科学的予測を可能とする国際的かつ分野横断的な科学ネットワークさえ存在しません。海洋生物の危機、人類の危機が現実的に懸念される今、このネットワークの形成は緊急の課題なのです。

そこで、本事業では、最新の科学の粋を集めた未来の海の予測、若手研究者の支援と国際ネットワークの構築、広く一般を対象とした周知啓発と国際機関や各国政府への提言を行い、グローバルな規模での海洋研究を推進します。

▼未来の海を予測する若手科学者たち



「青バイ隊」プロジェクトの推進



白い水飛沫を立てながら夏の海を爽快に滑走する水上バイクの姿はマリンレジャーの代名詞ともいえます。また、その機動性から水上バイクは水難救助活動の手段としての活用も注目されており、海外では水上バイクによるレスキュー隊の存在も珍しくありません。その一方で、近年、国内では事故の多発や一部ユーザーによるマナーの悪化が要因となり、各地で水上バイクに対する規制や取り締まりが強化されています。しかし、規制を無視したり、取り締まりをかいくぐりながらの暴行行為が後を絶たず、「規制する側」と「される側」のイタチごっこが続いています。

このような状況の中、2007年佐賀県の伊万里湾にて水上バイクユーザーが自主的に「青バイ隊」を立ち上げました。「青バイ隊」は水上バイク愛好者から構成され、海のマナー向上の啓蒙、水難事故救助訓練、水上パトロールなど環境保全活動を行っています。

「青バイ隊」は「規制する側」や「される側」の壁を超え、愛好者に限らず行政や漁業関係者等とも協力しながら、より良い海の利用を目指して活動しています。2007年以降「青バイ隊」は活動理念に共感する愛好者が徐々に増え、九州北部を中心に「青バイ隊」の入隊希望者が増えています。

2011年度においては、主要な水上バイク団体と連携し、「青バイ隊」のさらなる拡大を図ります。日本財団は、水上バイクユーザーによる「青バイ隊」への支援を通じ、安全で誰もが利用しやすい海づくりに取り組めます。

▼海のマナー向上や水難事故救助を行う青バイ隊



「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト



「豊かで美しい海を子供や孫の代まで残したい。」こう考えている人は決して少なくないはず。特に海に面している地域において、海は社会経済活動の基盤であると共に、その地域に根付いた伝統の発信源でもあるため、地域住民の生活と切り離せない大切な存在です。

その一方で、マリンレジャー、漁業、海岸整備、海洋環境保全、海洋教育、伝統行事など多種多様な活動に海は利用され、各活動分野の間で利害の衝突が発生しています。さらに、分野ごとの縦割りの視点だけで考えてしまうと、海は特定の活動分野にとって都合の良いようにしか利用されない可能性も出てきます。本来ならば地域の海は地域住民の生活と密接に関係しているからこそ、その住民が分野にとらわれず、自分達の海のことを共に考え行動しなければなりません。

そこで日本財団では「地域の視点」から地域の海の問題や課題を捉え、地域住民が理想としている海の実現に取り組めます。2011年度では、北海道積丹町をモデル地域とし、町内のボランティア団体、漁業組合、町役場、学校、B&G海洋センター、観光産業など様々な団体が得意分野を生かして連携しながら、積丹町の豊かで美しい海づくりを目指します。

日本財団は、地域の力で次世代に地域の海を引き継ぐことができるように『「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト』を支援します。また、このような「地域による海づくり」が全国各地に波及することを目指しています。

▼積丹町の藻場再生に取り組むボランティアのダイバー達



アジア太平洋における 手話言語学の普及および 手話辞書の作成

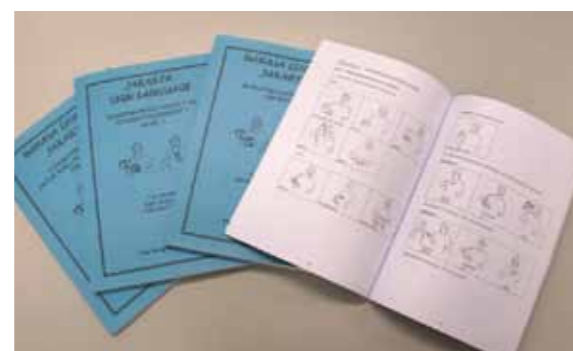


手話はろう者の第一言語で、話し言葉や書き言葉とは違う独特の文法を持っています。2006年に国連総会で採択された障害者権利条約では「手話は言語である」と定義されており、音声言語と同等の扱いを受けるべきだとされています。ろう者が適切な教育を受け、社会に参画するためには、手話で教えることのできる先生や手話通訳が必要になります。しかし、アジア太平洋の多くの国々では手話を教えるための十分な手話の辞書や教材がなく、トレーニングを受けた手話通訳も不足しているのが現状です。

そのため、香港中文大学では、ろう者が自分たちの言語である手話言語学を学ぶためのプログラムを設立しました。現在、スリランカ、インドネシア、フィジー、香港、日本のろう者が香港中文大学で手話言語学を学びつつ、それぞれの国の手話辞書の作成をすすめています。他に聴者が手話言語学を学ぶプロ

グラムもあり、将来はろう者と聴者がチームとなって手話言語学の研究や手話辞書の作成に取り組むことになっています。各国の手話は、「アジア手話バンク」としてネットワーク上に保存され、誰でもアクセスできるようになる予定です。また、香港中文大学を中心として、インドネシア大学や東京大学などとネットワークを構築し、それぞれの国で手話言語学の研究拠点をつくることを目指しています。

▼手話辞書



カンボジアにおける ラジオ放送による 中学校英語教育の実施



カンボジアでは、70年代のポル・ポト統治下において全国の学校が破壊され、教員や知識人など大勢の命が奪われました。そのカンボジアで教員不足・教育の質の問題は現在でも深刻です。多くの貧しい教員は、生活のためアルバイトを余儀なくされ、必要な教材も、仲間と悩みを共有する時間も不十分な状況で、赴任時に抱いていた情熱を失ってしまっています。この教員の意識を向上させない限り、カンボジアの教育の質向上は望めません。

日本財団は、2010年より同国の貧困地域プレアピヒア、スタントレン及び首都プノンペンの中学校で、ラジオ放送による英語教育事業を実施しています。英国 NGO「BBC ワールドサービストラスト」の協力で、カンボジア社会に適した内容の英語教育ラジオ番組を開発。中学1年生を対象にこの番組を使った課外授業を行ったところ、生徒や教員、地域コミュニ

ティの間で大きな反響を呼びました。教員は、生徒の学習意欲や英語スキルの向上に手応えを感じており、通常授業における生徒の出席率も向上したと言います。

電気がない村の学校や家庭では、乾電池式ラジオは人々の重要な情報収集ツールです。教育手段としてのラジオ放送の効果が検証できた暁には、全国で、また他科目でも同様の手法を採用する予定です。将来的には遠隔地の貧しい子供と教員が、高いモチベーションを持って学ぶ環境を整備し、カンボジアの教育の質向上を目指します。

▼ラジオの英語を元気に復唱するカンボジア中学校の生徒たち



ストックホルムにおける 原爆展及び軍縮に関する シンポジウムの開催



65年前、広島と長崎に落とされた2発の原爆は、両都市に壊滅的な打撃をもたらし、その影響は今も続いています。日本は、この人類が引き起こす残酷な結果を世界の人々と共有し未来への礎とすべく、世界各地で原爆展を開催してきました。被害を訴えるためではなく、事実を伝えることが日本の果たすべき大切な役割だからです。

しかしながら、原爆展の開催には周到な準備が必要なため、開催地の数は限られています。そして、北欧ではこれまで原爆展が開かれたことがありませんでした。そこで、日本財団は2010年9月にスウェーデンのストックホルムにおいて、原爆展とシンポジウムを開催いたしました。

原爆展は3か月の会期中、来場者は17,000人を超えました。小学生対象のツアーが70回、一般ツアーが20回開催され、幅広い年齢層の人々が原爆展を経

験しました。また、原爆展開会の日に行われたシンポジウムでは、川口順子元外務大臣、ハンス・ブリックス元国際原子力機関事務局長、広島の被爆者笹森恵子さん他がスピーチをし、200人の聴衆が耳を傾けました。中でも笹森さんの力強いメッセージには、涙を流している人もいました。

今後、来場された人たちが、核兵器の在り方、各国の立場や防衛、子供たちの未来などを考える時に、原爆展及びシンポジウムで実際に感じたことを思い出し、等身大の核被害がどういふものかということを中心に留めていただけることを期待しています。

▼原爆展の開会テープカット。右からクリスティーナ女王、笹森女史、ハンス・ブリックス氏、川口氏、笹川日本財団会長



現代日本文学作品集の 翻訳出版・寄贈事業



日本財団は、海外における日本の実情理解促進を目的に、図書の寄贈、翻訳出版の支援、翻訳者の育成および出版関係者の交流を支援しています。

2008年度に開始した図書寄贈事業では、これまで世界75カ国540の図書館に対して、現代日本理解に役立つ英文図書約34,000冊を寄贈しました。公共図書館や大学図書館に寄贈された幅広い分野の図書は、研究者や学生をはじめ、多くの人に活用されています。

同時に、英文図書の寄贈に加えて、日本語で書かれた書籍を海外の読者に紹介する取り組みとして、翻訳出版プログラムも実施しています。同プログラムでは、有識者により厳選された「翻訳推薦書」100冊を英文で紹介し、海外の出版社による翻訳出版を支援しています。更に、若手翻訳家を対象としたワークショップの実施、英米の編集者を日本に招いてのシ

ンポジウム開催などを通して、日本と海外の出版関係者の交流や人材育成を促しています。

日本財団はこれらの取り組みを通じて、世界中で一人でも多くの読者に日本の書籍に親しみ、日本への関心や理解を深めて頂ければと考えています。

▼英米の編集者を招聘して行われたシンポジウム「私たちが世に届けたい物語」より



情報公開

より良い社会へのヒントはここにある。

～徹底した情報公開、積極的な情報提供で社会を変える～

「社会のために役立ちたい」、「困っている人々の力になりたい」。

日本財団はそのような崇高な精神と意欲に溢れた方々の拠り所として、あらゆる公益活動に関する有用な情報を積極的に提供しています。

なかでも、新鮮な情報をタイムリーに発信することができるウェブサイトの充実に力を入れています。

公式ホームページはもちろん、ブログや動画などを最大限に活用し、現場の声や状況を分かりやすくお伝えできるよう心がけています。

また、日本財団が掲げる活動指針の1つに「社会に対して常にオープンで透明であること」とあるように、日本財団の全てを知っていただくつもりで情報公開に取り組んでいます。

明るい豊かな社会を皆さまとともに築いていくために、有益な情報を今後も継続的に発信してまいります。

ウェブサイトによる情報発信

①日本財団公式サイト (<http://www.nippon-foundation.or.jp/>)

日本財団に関するあらゆる情報を紹介しているサイト。財団の組織図や採用情報、事業紹介、助成制度に関する情報などを掲載。「英文サイト」やポर्टレースの収益金の使途を紹介する「ちゃっぷん亭」なども併設。

②日本財団ブログマガジン (<http://blog.canpan.info/koho/>)

国内外の多岐にわたる助成事業の中から、主に新しい取り組みをピックアップし、ブログ上で毎日紹介。

③Nippon Foundation TV (<http://www.youtube.com/user/NipponFoundationPR>)
動画配信サイト「ユーチューブ」を活用し、助成事業の臨場感あふれる現場の映像を配信。

④Nippon Zaidan Twitter (<http://twitter.com/NipponZaidan>)

一般の方々と気軽なコミュニケーション・ツールとして、ミニブログ「Twitter (ツイッター)」を活用。助成事業のイベントや募集情報などをリアルタイムに発信。

⑤日本財団図書館 (<http://nippon.zaidan.info/>)

日本財団が支援した助成事業の成果（報告書など）を広く社会に還元するための電子図書館サイト。A4サイズ換算で110万ページ以上の情報。

パブリシティ活動 (マスメディアへの情報発信)

新聞やテレビ、雑誌などのマスメディアは、市民が社会に対して働きかける際の架け橋として重要な役割を果たしています。私たちは、マスメディアへの働きかけを積極的に行い国内外の様々な公益活動を取り上げていただくことで、社会問題に対する市民の意識が一層高まるとともに、社会がより良い方向へ進むためのうねりが起こることを期待しています。

▶ Nippon Foundation TV



調査研究

新規事業を発掘して、よりよい社会作り。

本事業は新規事業の発掘を中心に助成事業、協力援助事業の質的向上を図ることを目的に当財団が自ら行うものです。2011年度も引き続き先駆的かつ波及効果が期待できる助成事業を発掘するための調査研究を積極的に推進します。

また、助成事業の評価については、第三者による評価と当財団自らによる評価を実施することにより、事業の透明性の一層の向上を図ります。

助成事業開拓のための先駆的 事業の試みや実情調査等

海洋ボランティア構想における地域連携モデルの構築、地域資源を利用した離島振興モデルの発信と

展開、ホスピスや障害者福祉等に関する調査研究、障害者のアート活動支援に関する調査研究、海外における現代日本理解促進のための図書寄贈・出版事業、ハンセン病の制圧および社会的差別の解消、助成事業各分野における実情調査のほか、先駆的事业の開発のための調査研究活動を行います。

ウェブサイトを活用した 公益活動の促進に関する調査等

ウェブサイトを活用した公益活動の促進に関する調査研究、寄付文化醸成のための調査研究および啓発活動、助成事業の事業評価に関する研究、ポर्टレースの社会的役割を促進するための調査研究などを行います。

公益コミュニティサイト CANPAN の 構築・運営

助成金による支援をさらに有効的なものとするため、またはその成果をより多くの方に知ってもらうため、そして市民活動の社会的信用をアップし、これらの活動をより活性化するための



「情報による支援」を目的として、ウェブサイト「日本財団公益コミュニティサイト CANPAN」を展開しています。(月間214万ビジット:2011年2月現在)

本サイトでは、市民活動をより円滑に進めていくための機能をいくつか備えています。特に多くの市民活動団体が課題として抱えている財政面でのサポート機能として、2009年2月より、インターネットを使った寄付決済サービスの提供を開始しています。



2011年度事業計画 [事業一覧]



2011年4月1日に決定した事業・団体の一覧です。
国際協力については、年度内に随時審査を行い助成先を決定するため、2010年度の実績を掲載いたします。

寄付文化醸成プロジェクト 「夢の貯金箱」

公益法人、特定非営利活動法人は社会変革の担い手としてその活動が期待されていますが、その多くは財政基盤が脆弱で、その結果、活動資金不足、マンパワー不足が顕著であり、期待される成果を充分上げていない状況にあります。

この原因の一つにわが国には欧米に比較し個人からの寄付額が非常に少なく、寄付行為が定着しているとはいえないこと、また寄付金を受ける側の資金集め(ファンドレイジング)活動や情報公開等が十分でないことが原因と考えられます。

とはいえ、市民の寄付に対する意識や企業のCSRへの取り組みは拡大しつつあり、両者のニーズをつなげていく触媒の役割を果たすことが求められています。

寄付文化醸成プロジェクトでは、一般や企業、団体

が行う様々な寄付の仕組みを提案し、その結果集められた寄付金により公益的な活動で成果をあげ、透明性を持って公表することで、日本の寄付文化を醸成し、民間の非営利団体が本来求められている活動を充分に実施できる状況となることを目指しています。

▼夢の貯金箱 ▼歯の妖精 TOOTH FAIRY



▼日本人学生と、スーダン人留学生によるスーダンでの視覚障害者教育支援



▲ホームレスなど、行き場をなくした人々を対象とした支援

みなさまから頂いた寄付金は、このような事業に役立てられています。



▲ホームホスピス活動の推進



▲ミャンマーでの学校建設

ご寄付に関するお問い合わせは、お気軽にどうぞ。

(単位:円)

	団体数	事業数	助成金額
公益・ボランティア			
改修による地域福祉拠点整備	241	249	757,820,000
福祉車両の整備	27	27	100,260,000
ホスピスケア充実のための活動	28	32	318,580,000
社会福祉の増進	84	94	781,340,000
犯罪被害者、自殺者の遺族に対する支援	26	27	171,360,000
親学「親が変われば子どもも変わる」の推進	6	6	29,750,000
郷土愛の醸成を目指した郷土検定の推進	13	13	19,890,000
地域課題解決のためのチャリティ事業支援	14	14	73,720,000
自主防犯活動の活性化を目指した青パトの配備	4	4	5,200,000
農業復興のための先駆的な仕組みづくり	10	10	46,660,000
ボランティア参加型の間伐材の搬出システムの構築	5	5	8,840,000
防災林としての鎮守の森、学校林の再生	2	2	9,990,000
大学などの地域資源を活かした社会貢献支援	13	13	27,530,000
社会・生活一般	62	83	1,654,020,000
計	(※1) 531	579	4,004,960,000
海洋			
船舶・海運技術の研究開発と産業の基盤強化	18	45	1,811,600,000
海洋に関する研究及び情報・体制の整備	8	17	1,337,290,000
航行の安全確保及び海上災害対策	13	27	711,860,000
海・船に関する国民の理解促進	77	92	1,966,010,000
その他、海や船に関する事業	29	39	1,350,260,000
計	(※1) 144	220	7,177,020,000
修繕(※2)			100,000,000
福祉車両・改修事業など年度内募集分(※3)			8,146,520,000
合計(※4)			19,351,000,000

(※1) 1つの団体の事業が、複数の事業テーマに分かれているため、団体数の合計は一致しません。

(※2) 当財団の助成を受け建築した施設の修繕事業を実施するための予算です。

(※3) 当該年度に公募し決定する福祉車両配備事業、改修事業や緊急かつ重要な案件に対応するための予算です。

(※4) 2011年度収支予算(48ページ参照)の経常費用の補助金と国内協力援助費の総額です。

※2011年4月1日に決定した事業・団体の一覧です。
 ※1つの団体の事業が、複数の事業テーマに分かれているため、団体の数の合計は一致しません。
 ※団体の法人格の略称
 (財):財団法人 (社):社団法人 (福):社会福祉法人 (特):特定非営利活動法人 (独法):独立行政法人 (学):学校法人

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	釧路圏障がい者自立支援施設協議会	北海道	釧路市	授産品販売所の機器整備	270,000
	榊原ホーム	北海道	室蘭市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	札幌会	北海道	札幌市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	4,050,000
(福)	当麻かたるべの森	北海道	上川郡当麻町	児童デイサービスセンターの整備/公衆浴場改修	6,940,000
(福)	新冠ほくと園	北海道	新冠郡新冠町	障害者グループホームの整備/アパート改修	4,920,000
(福)	美深福祉会	北海道	中川郡美深町	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	5,000,000
(特)	みつばち	北海道	札幌市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	1,210,000
	山倉ホーム	北海道	厚岸郡浜中町	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	健誠会	青森県	つがる市	障害者支援施設(就労継続A)の整備/幼稚園改修 障害者グループホーム等の整備/民家改修	20,910,000
(福)	清慈会	青森県	八戸市	障害者ケアホームの改装	1,000,000
(特)	花さき村	青森県	八戸市	障害者支援施設(生活介護)の整備/店舗改修	2,000,000
(福)	胆沢コスモス会	岩手県	奥州市	障害者ケアホームの整備/寄宿舎改修	7,880,000
(一社)	米内地域支援プラザ	岩手県	盛岡市	老人デイサービスセンターの整備/診療所改修	8,000,000
	菊池ホーム	岩手県	下閉伊郡岩泉町	里親ホームの改装	790,000
	佐々木ホーム	岩手県	花巻市	里親ホームの改装	530,000
(特)	そよかぜの家	岩手県	八幡平市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	3,680,000
(福)	平成会	岩手県	一関市	障害者支援施設(生活介護)の整備/公民館改修	10,000,000
	安東ホーム	宮城県	仙台市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	かがやき	宮城県	柴田郡村田町	障害者支援施設(就労継続B等)の整備/倉庫改修	12,390,000
	長谷ホーム	宮城県	黒川郡大和町	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	はらから福祉会	宮城県	柴田郡柴田町	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,770,000
(特)	福祉ネットABC	宮城県	仙台市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,200,000
(福)	愛泉会	山形県	山形市	障害者雇用施設の機器整備	3,580,000
(特)	まんまる	山形県	西置賜郡小国町	障害者グループホームの整備/民家改修	3,560,000
(福)	陽光会	山形県	南陽市	障害者支援施設(就労継続B、生活介護)の機器整備	4,240,000
(特)	あさがお	福島県	南相馬市	障害者ケアホームの整備/民家改修	5,620,000
(特)	えいど福島	福島県	福島市	障害者地域活動支援センターの改装	1,000,000
(福)	自立奉仕会	茨城県	笠間市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	4,980,000
(福)	愛光園	栃木県	足利市	障害者支援施設(就労支援A、就労継続B、生活介護)の機器整備	4,720,000
(福)	同愛会	栃木県	塩谷郡塩谷町	障害者支援施設(生活介護)の機器整備	1,160,000
(特)	ハートフルふきあげ	栃木県	栃木市	障害者支援施設(就労継続A)の改装 障害者支援施設(就労継続B)の改装	2,000,000
(福)	明清会	群馬県	伊勢崎市	障害者支援施設(就労移行、就労継続B)の機器整備	1,850,000
	本井ホーム	群馬県	高崎市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	入間東部むさしの作業所	埼玉県	富士見市	障害者支援施設(就労支援B、就労移行)の機器整備	1,320,000
	加藤ホーム	埼玉県	大里郡寄居町	里親ホームの改装	840,000
	神田ホーム	埼玉県	久喜市	里親ホームの改装	1,000,000
	工藤ホーム	埼玉県	所沢市	里親ホームの改装	360,000
	古場ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	890,000
(社)	埼玉県視力障害者福祉協会	埼玉県	熊谷市	点字プリンタ等の整備	660,000
	齋藤ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	1,000,000
	佐野ホーム	埼玉県	蓮田市	里親ホームの改装	930,000
	関根ホーム	埼玉県	飯能市	里親ホームの改装	1,000,000
	高木ホーム	埼玉県	所沢市	里親ホームの改装	1,000,000
	高橋ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	1,000,000

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	中嶋ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	710,000
	長谷川ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	990,000
	堀内ホーム	埼玉県	上尾市	里親ホームの改装	60,000
	まるまる工房	埼玉県	新座市	障害者雇用施設の機器整備	730,000
	宮本ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	1,000,000
	村木ホーム	埼玉県	深谷市	里親ホームの改装	1,000,000
	山崎ホーム	埼玉県	さいたま市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	ゆうき福祉会	埼玉県	所沢市	障害者支援施設(就労継続B、就労移行)の機器整備	5,000,000
(福)	広文会	千葉県	香取郡神崎町	老人デイサービスセンターの整備/民家改修	6,540,000
(特)	自閉症サポートセンター	千葉県	柏市	障害者支援施設(生活介護)の改装	830,000
(福)	あかね	千葉県	船橋市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,320,000
	鈴木ホーム	千葉県	富津市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	父の樹会	千葉県	千葉市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,620,000
	西澤ホーム	千葉県	南房総市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	にじと風福祉会	千葉県	八千代市	障害者支援施設(日中一時支援)の改装	1,000,000
(特)	フレンズ	千葉県	浦安市	障害者グループホームの改装	800,000
	牧野ホーム	千葉県	市原市	里親ホームの改装	990,000
	真野ホーム	千葉県	浦安市	里親ホームの改装	660,000
	伊奈ホーム	東京都	青梅市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	NPOあゆみ	東京都	東村山市	学童保育施設の改装	410,000
(特)	チャレンジアール支援機構	東京都	小金井市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/店舗改修	10,950,000
	小倉ホーム	東京都	八王子市	里親ホームの改装	830,000
(福)	恩賜財団済生会	東京都	港区	検診機器の整備	22,440,000
	川上ホーム	東京都	港区	里親ホームの改装	1,000,000
	姜ホーム	東京都	日野市	里親ホームの改装	1,000,000
	北村ホーム	東京都	羽村市	里親ホームの改装	1,000,000
	古関ホーム	東京都	練馬区	里親ホームの改装	900,000
	鈴木ホーム	東京都	世田谷区	里親ホームの改装	1,000,000
	竹内ホーム	東京都	北区	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	聴覚障害教育支援大塚クラブ	東京都	豊島区	ろう者の教材作成のための機器整備	900,000
(社)	東京都盲人福祉協会	東京都	新宿区	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	820,000
(福)	日本盲人会連合	東京都	新宿区	視覚障害者情報提供施設(点字出版所)の機器整備	5,000,000
	早川ホーム	東京都	新宿区	里親ホームの改装	1,000,000
	藤原ホーム	東京都	あきる野市	里親ホームの改装	1,000,000
	ホームばあばば	東京都	町田市	ファミリーホームの整備/民家改修	2,880,000
(福)	未来	東京都	小平市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,920,000
	山下ホーム	東京都	中野区	里親ホームの改装	820,000
(特)	結の会	東京都	八王子市	心身障害者(児)通所訓練施設の改装	1,000,000
	江尻ホーム	神奈川県	鎌倉市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	Enjoyment	神奈川県	横浜市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備 障害者支援施設(就労継続B)の改装	690,000
(特)	救助犬訓練士協会	神奈川県	藤沢市	災害救助犬トレーニングセンターの整備/牛舎改修	10,000,000
(特)	五つのパン	神奈川県	横浜市	障害者地域活動支援センターの機器整備	410,000
	中島ホーム	神奈川県	横浜市	里親ホームの改装	870,000
(特)	夢屋	神奈川県	川崎市	障害者地域活動支援センターの機器整備	450,000
(福)	ラファエル会	神奈川県	鎌倉市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,610,000
(特)	療育ねっとわーく川崎	神奈川県	川崎市	障害者支援施設(生活介護)の整備/店舗改修	3,970,000

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	渡部ホーム	神奈川県	横浜市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	上越つくしの里医療福祉協会	新潟県	上越市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	730,000
(福)	中東福祉会	新潟県	五泉市	障害者グループホームの改装	550,000
		新潟県	五泉市	障害者グループホームの改装	
(福)	新潟慈生会	新潟県	新潟市	障害者支援施設(就労移行・就労継続B)の機器整備	3,590,000
	ファミリーホーム いからし	新潟県	新潟市	ファミリーホームの整備/民家改修	1,000,000
	稲荷ホーム	富山県	下新川郡朝日町	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	秀愛会	富山県	富山市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	1,800,000
(特)	すこやか26	富山県	高岡市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/民家改修	3,140,000
(特)	Jam	富山県	高岡市	障害者支援施設(就労継続B、生活介護)の機器整備	1,170,000
	宮下ホーム	富山県	高岡市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	めひの野園	富山県	富山市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	3,720,000
(福)	朋友会	石川県	加賀市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	560,000
(福)	コミュニティーネットワークふくい	福井県	福井市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備 障害者ケアホーム等の整備/民家改修	19,360,000
(福)	福授園	福井県	鯖江市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	4,000,000
(特)	福祉ワーキンググループ大野	福井県	大野市	老人デイサービスセンターの整備/民家改修	4,560,000
(特)	サポートハウスひとみ	山梨県	韮崎市	老人デイサービスセンターの整備/民家改修	6,950,000
	鈴木ホーム	山梨県	甲斐市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	ひとふさの葡萄	山梨県	中央市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	5,000,000
	松岡ホーム	山梨県	北杜市	里親ホームの改装	970,000
	井上ホーム	長野県	上田市	里親ホームの改装	1,000,000
	宇津ホーム	長野県	伊那市	里親ホームの改装	990,000
(特)	ほたか野の花	長野県	安曇野市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/店舗改修	10,930,000
(福)	長野県知的障害者育成会	長野県	長野市	障害者グループホームの整備/事務所改修	4,800,000
(特)	レスパイトケアはちもり	長野県	東筑摩郡朝日村	障害者支援施設(就労継続B、生活介護)の機器整備	2,060,000
(特)	キッズアカデミーせき園	岐阜県	関市	障害者支援施設(日中一時支援)の整備/民家改修	3,000,000
	野々市ホーム	岐阜県	岐阜市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	みらい	岐阜県	多治見市	障害者支援施設(日中一時支援)の改装 障害者支援施設(就労移行・就労継続B、生活介護)の機器整備	4,900,000
	岩崎ホーム	静岡県	沼津市	里親ホームの改装	960,000
	大石ホーム	静岡県	沼津市	里親ホームの改装	1,000,000
	心実の家	静岡県	磐田市	ファミリーホームの整備/民家改修	3,000,000
(福)	復泉会	静岡県	浜松市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	1,280,000
(財)	復康会	静岡県	沼津市	障害者グループホームの改装 障害者グループホームの改装	1,330,000
(福)	見晴学園	静岡県	三島市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	5,000,000
(一社)	モリス	静岡県	静岡市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	1,850,000
(福)	サン・ビジョン	愛知県	春日井市	老人デイサービスセンターの整備/会社事務所改修	6,400,000
	すずきさん家	愛知県	常滑市	ファミリーホームの整備/民家改修	3,000,000
(特)	うたた	愛知県	田原市	障害者ケアホーム及び障害者ショートステイ施設の整備/民家改修	6,950,000
(特)	どんぐりの会	愛知県	豊川市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	3,150,000
	内藤ホーム	愛知県	日進市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	名古屋ライトハウス	愛知県	名古屋市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	5,000,000
(特)	福祉住環境地域センター	愛知県	豊橋市	障害者支援施設(就労移行・就労継続B)の整備/店舗改修	1,000,000

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	ふれあいサロンさん・さんガーデン	愛知県	一宮市	障害者支援施設(生活介護)の機器整備	2,830,000
	堀永ホーム	愛知県	岡崎市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	まんめんの笑み	愛知県	瀬戸市	障害者支援施設(日中一時支援)の整備/事務所改修	2,380,000
(福)	みはま福祉会	愛知県	知多郡美浜町	障害者支援施設(生活介護)の機器整備	3,520,000
(特)	楽笑	愛知県	蒲郡市	障害者支援施設(生活介護、児童デイサービス)の整備/倉庫改修	9,200,000
(福)	あいプロジェクト	三重県	四日市市	障害者支援施設(就労継続B、生活介護)の改装	1,000,000
(特)	赤目の里山を育てる会	三重県	名張市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	3,960,000
(福)	名張育成会	三重県	名張市	障害者ケアホームの整備/ホテル改修	10,000,000
(特)	夢工房	三重県	桑名市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/民家改修	5,900,000
	武村ホーム	滋賀県	守山市	里親ホームの改装	1,000,000
	田辺ホーム	滋賀県	大津市	里親ホームの改装	310,000
	松本ホーム	滋賀県	東近江市	ファミリーホームの整備/民家改修	3,000,000
(特)	ENDEAVOR JAPAN	京都府	向日市	障害者支援施設(就労継続A・B)の機器整備	4,470,000
(福)	京都聴覚言語障害者福祉協会	京都府	京都市	障害者支援施設(就労移行、生活介護)の整備/保育所改修	15,000,000
(福)	こごせ福祉会	大阪府	富田林市	障害者支援施設(就労移行、生活介護)の機器整備	800,000
	塩月ホーム	大阪府	大阪市	里親ホームの改装	940,000
(福)	つむぎ福祉会	大阪府	大阪市	障害者ケアホームの整備/事務所改修	8,030,000
(特)	Dear friends	大阪府	堺市	障害者支援施設(就労継続B)の改装	970,000
(福)	のぞみ福祉会	大阪府	吹田市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,150,000
(福)	北摂杉の子会	大阪府	高槻市	障害者支援施設(就労移行・就労継続B)の機器整備	570,000
(特)	ICCC	兵庫県	伊丹市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/店舗改修	8,480,000
(特)	アゲイン	兵庫県	神戸市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	5,000,000
(福)	朝来市社会福祉協議会	兵庫県	朝来市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,780,000
(福)	淡路島福祉会	兵庫県	南あわじ市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,500,000
	沖田ホーム	兵庫県	南あわじ市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	協同の苑	兵庫県	神戸市	老人デイサービスセンターの整備/民家改修	5,810,000
(特)	神戸障害者自立支援福祉協会	兵庫県	神戸市	障害者支援施設(就労移行・就労継続A)の機器整備	5,000,000
	佐藤ホーム	兵庫県	豊岡市	里親ホームの改装	990,000
	篠島ホーム	兵庫県	丹波市	里親ホームの改装	890,000
	住谷ホーム	兵庫県	洲本市	里親ホームの改装	1,000,000
	玉置ホーム	兵庫県	丹波市	里親ホームの改装	250,000
(特)	地域活動ステーション めくもりの家	兵庫県	川西市	老人デイサービスセンターの改装	380,000
(特)	アミーゴ	兵庫県	宝塚市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,150,000
(特)	いちばん星	兵庫県	南あわじ市	障害者地域活動支援センターの機器整備	160,000
(特)	ヴィ・リアル生活支援センター	兵庫県	尼崎市	障害者支援施設(生活介護)の整備/店舗改修	15,000,000
(福)	兵庫県社会福祉事業団	兵庫県	神戸市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	2,520,000
(福)	わかたけ福祉会	兵庫県	篠山市	障害者支援施設(生活介護、自立訓練)の改装	1,000,000
(福)	共生福祉会大樹	奈良県	天理市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	5,000,000
(福)	一麦会	和歌山県	和歌山市	障害者地域活動支援センターの整備/店舗改修	2,540,000
(特)	絆	和歌山県	田辺市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	2,270,000
	小阪ホーム	和歌山県	田辺市	里親ホームの改装	780,000
(福)	柿木村福祉会	鳥取県	西伯郡大山町	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,300,000
(福)	鳥取県ライトハウス	鳥取県	米子市	点字プリンタの整備	2,760,000
(特)	たんぼぼ	鳥取県	八頭郡八頭町	障害児デイサービスセンターの改装	780,000
	升本ホーム	鳥取県	鳥取市	里親ホームの改装	1,000,000

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(福)	養和会	鳥取県	米子市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,920,000
(福)	クムレ	岡山県	倉敷市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	720,000
(特)	ドリーム・プラネット	岡山県	岡山市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	4,920,000
	ファミリーホームきぼう	岡山県	津山市	ファミリーホームの整備/民家改修	2,990,000
(福)	尾道さつき会	広島県	尾道市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,270,000
	實延ホーム	広島県	庄原市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	親心会	広島県	山県郡安芸太田町	障害者グループホームの整備/学校改修	6,850,000
(福)	静和会	広島県	府中市	障害者ケアホームの整備/通勤寮改修	9,100,000
(特)	中央・幸工房	広島県	広島市	障害者地域活動支援センターの整備/民家改修	1,530,000
(福)	虹の会	広島県	福山市	障害者ケアホーム等の整備/学生寮改修	10,000,000
(特)	あけぼの会	山口県	山陽小野田市	障害者地域活動支援センターの改装	880,000
(特)	海祐会	山口県	大島郡周防大島町	老人デイサービスセンターの整備/病院改修	8,460,000
(特)	アイムウェルネス	山口県	岩国市	老人デイサービスセンターの整備/店舗改修	10,000,000
(特)	長門市手をつなぐ親の会	山口県	長門市	障害者支援事業所(就労継続B)の機器整備	1,820,000
(福)	むべの里	山口県	宇部市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	5,000,000
(特)	山口ウッドムーンネットワーク	山口県	山口市	障害児デイサービスセンターの整備/事務所改修	10,840,000
	岩佐ホーム	徳島県	徳島市	里親ホームの改装	1,000,000
	久米川ホーム	徳島県	徳島市	里親ホームの改装	1,000,000
	高橋ホーム	徳島県	勝浦郡上勝町	里親ホームの改装	900,000
(福)	徳島県社会福祉事業団	徳島県	徳島市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,360,000
	新居ホーム	徳島県	阿南市	里親ホームの改装	980,000
	南ホーム	徳島県	徳島市	里親ホームの改装	1,000,000
	吉川ホーム	徳島県	鳴門市	里親ホームの改装	1,000,000
(福)	愛媛県社会福祉事業団	愛媛県	松山市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,680,000
(福)	聖風会	愛媛県	西条市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,530,000
(福)	光の村	高知県	土佐市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	3,550,000
(特)	地域生活サポート倶楽部とむ	福岡県	福岡市	障害者グループホームの整備/民家改修	6,540,000
	大場ホーム	福岡県	福岡市	里親ホームの改装	1,000,000
(特)	共生の里	福岡県	行橋市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/店舗改修	9,710,000
(福)	キリスト者奉仕会	福岡県	大牟田市	障害者ケアホーム等の整備/アパート改修	5,640,000
(福)	敬愛会	福岡県	豊前市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	620,000
(福)	佐与まごころ会	福岡県	飯塚市	障害者支援施設(生活介護)の機器整備	1,480,000
(福)	白百合福祉会	福岡県	三潁郡大木町	障害者支援施設(就労継続A・B、生活介護)の機器整備	1,780,000
(福)	筑穂福祉会	福岡県	飯塚市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,500,000
(福)	野の花学園	福岡県	福岡市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,010,000
	ファミリーホーム「モコモコ山」	福岡県	北九州市	ファミリーホームの整備/民家改修	2,970,000
(福)	かささぎ福祉会	佐賀県	佐賀市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	1,430,000
(特)	宅老ちよだひまわりの会	佐賀県	神埼市	老人デイサービスセンターの改装	720,000
(福)	コスモス会	長崎県	南島原市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,870,000
(特)	佐世保サンライズ	長崎県	佐世保市	障害者支援施設(就労継続A、就労継続B)の機器整備	4,280,000
	友永ホーム	長崎県	諫早市	ファミリーホームの整備/民家改修	1,360,000
(特)	五和ささえ愛カンナの会	熊本県	天草市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	2,540,000
(特)	えんぱ	熊本県	宇城市	障害者支援施設(日中一時支援)の改装	1,000,000
(福)	環友會	熊本県	熊本市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	2,480,000
(福)	慶信会	熊本県	下益城郡城南町	障害者支援施設(生活介護、自立訓練、就労移行、就労継続B)の機器整備	2,870,000

●改修による地域福祉拠点整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(福)	誠心会	熊本県	球磨郡あさぎり町	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	4,440,000
(特)	まちくらネットワーク熊本	熊本県	熊本市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	2,150,000
(特)	うさぎとかめ	大分県	大分市	老人デイサービスセンターの機器整備	1,000,000
(福)	大分県社会福祉事業団	大分県	大分市	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	5,000,000
(福)	共生荘	大分県	国東市	障害者支援施設(就労継続B、就労移行)の機器整備	1,560,000
(福)	求来里会	大分県	日田市	障害者支援施設(就労移行)の機器整備	1,760,000
(特)	心里	大分県	宇佐市	障害者支援施設(就労継続A、就労移行)の機器整備	1,280,000
(福)	直心会	大分県	中津市	特別養護老人ホームの機器整備	750,000
(福)	博愛会	大分県	大分市	障害者支援施設(就労継続B)の整備/宴会場改修	14,640,000
	坂元ホーム	宮崎県	北諸県郡三股町	里親ホームの改装	850,000
(特)	笑福会	宮崎県	北諸県郡三股町	障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	3,620,000
(特)	明りの家	鹿児島県	奄美市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,670,000
(福)	ウイズ福祉会	鹿児島県	薩摩川内市	障害者支援施設(就労継続B)の機器整備	4,460,000
(特)	こすも	鹿児島県	熊毛郡種子町	障害者支援施設(就労継続B)の整備/店舗改修	7,640,000
(福)	白鳩会	鹿児島県	肝属郡南大隅町	障害者支援施設(就労継続B、自立訓練)の機器整備 障害者支援施設(就労継続A)の機器整備	8,640,000
(特)	ふう	鹿児島県	南さつま市	障害者地域活動支援センターの整備/倉庫改修	7,480,000
(特)	愛の木	沖縄県	国頭郡今帰仁村	学童保育施設の改装	1,000,000
	平良ホーム	沖縄県	今帰仁村	里親ホームの改装	1,000,000
	高良ファミリー	沖縄県	豊見城市	ファミリーホームの整備/民家改修	3,000,000
	ファミリーホーム さんびの家	沖縄県	沖縄市	ファミリーホームの整備/民家改修	1,340,000

●福祉車両の整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(福)	旭川ねむのき会	北海道	旭川市	障害者支援施設(就労継続B、就労移行)の車両整備	4,200,000
(特)	アシストセンターちえりす	北海道	千歳市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	2,020,000
(福)	石巻祥心会	宮城県	石巻市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	4,370,000
(福)	月山福祉会	山形県	鶴岡市	障害者支援施設(就労継続B、自立訓練)の車両整備	5,000,000
(福)	希望の杜福祉会	福島県	いわき市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	3,320,000
(福)	上州水土舎	群馬県	富岡市	障害者支援施設(就労移行、就労継続B)の車両整備	4,310,000
(福)	新	埼玉県	狭山市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	4,750,000
(福)	昴	埼玉県	東松山市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	3,940,000
(福)	やまゆり福祉会	東京都	八王子市	障害者支援施設(就労継続B、生活介護)の車両整備	3,740,000
(福)	茅ヶ崎市社会福祉事業団	神奈川県	茅ヶ崎市	知的障害児通園施設の車両整備	4,760,000
(福)	ひばり	神奈川県	藤沢市	障害者支援施設(就労移行、就労継続B)の車両整備	4,230,000
(福)	愛宕福祉会	新潟県	新潟市	障害者支援施設(就労継続A、就労移行)の車両整備	3,840,000
(特)	愛和報恩会	富山県	富山市	障害者支援施設(就労継続A、就労継続B)の車両整備	2,960,000
(福)	七尾市社会事業協会	石川県	七尾市	保育所の車両整備	3,440,000
(福)	コミュニティーネットワークふくい	福井県	福井市	障害者支援施設(就労継続A)の車両整備	1,450,000
(特)	つみき福祉工房	愛知県	半田市	障害者支援施設(就労移行)の車両整備	1,550,000
(特)	呼夢フレンズ	三重県	四日市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	4,630,000
(福)	はこぶね会	滋賀県	高島市	保育所の車両整備	3,570,000
(福)	パレット・ミル	滋賀県	栗東市	障害者支援施設(就労移行、就労継続A)の車両整備	3,230,000
(福)	ライフサポート協会	大阪府	大阪市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	3,520,000
(福)	淡路島福祉会	兵庫県	南あわじ市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	4,710,000
(特)	岡山自立支援センター	岡山県	岡山市	障害者支援施設(就労継続A)の車両整備	5,000,000
(福)	あさひ	広島県	竹原市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	4,250,000
(福)	ウルカ福祉会	香川県	高松市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	2,740,000
(特)	ユニバーサルクリエート	愛媛県	松山市	障害者雇用施設の車両整備	2,820,000
(福)	福岡コロニー	福岡県	糟屋郡新宮町	障害者支援施設(就労移行)の車両整備	5,000,000
(特)	ステップ・ワーカーズ	佐賀県	佐賀市	障害者支援施設(就労継続B)の車両整備	2,910,000

●ホスピスケア充実のための活動

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(公財)	そらぶちキッズキャンプ	北海道	滝川市	キャンプ型小児ホスピス施設の整備	37,160,000
(学)	北海道医療大学 認定看護師研修センター 緩和ケア分野	北海道	石狩郡当別町	緩和ケア認定看護師養成事業 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	7,760,000
	みやぎ在宅支援ドクターネット	宮城県	大崎市	ホスピス緩和ケアにおける支援ネットワーク形成のための人材育成	1,000,000
(学)	自治医科大学	栃木県	下野市	寄附講座「緩和医療講座」の実施	33,000,000
	埼玉県立大学	埼玉県	越谷市	緩和ケア認定看護師養成事業	6,000,000
	いのちのケア研究会	東京都	品川区	医療系学生へのいのちのケア教育	330,000
	緩和ケア認定看護師連絡協議会	東京都	港区	緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	950,000
(財)	笹川記念保健協力財団	東京都	港区	ホスピス緩和ケア啓発支援推進事業	121,800,000
(学)	昭和大学	東京都	品川区	昭和大学「いのちの講座」の実施	530,000
(学)	聖路加看護学園 聖路加看護大学	東京都	中央区	訪問看護認定看護師養成事業	9,000,000
(社)	全国訪問看護事業協会	東京都	新宿区	訪問看護ステーション管理者養成研修及びフォローアップ研修会の開催	1,840,000
	大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会	東京都	品川区	医学生の緩和ケア教育のための教員セミナー	1,000,000
(社)	日本医療社会事業協会	東京都	新宿区	医療ソーシャルワーカーの養成等に関する事業	1,540,000
(社)	日本看護協会	東京都	渋谷区	緩和ケア認定看護師等養成事業及び緩和ケアナース養成研修会	10,100,000
(財)	日本訪問看護振興財団	東京都	渋谷区	在宅での看取りのケアセミナー 訪問看護認定看護師フォローアップ研修 訪問看護認定看護師養成事業 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業	18,640,000
(社)	神奈川県看護協会	神奈川県	横浜市	緩和ケア認定看護師養成事業	13,500,000
	東洋英和女学院大学死生学研究所	神奈川県	横浜市	死生学研究と公開講座の開催	1,000,000
	山梨県立大学看護実践開発研究センター	山梨県	甲府市	緩和ケア認定看護師養成事業	6,100,000
	静岡県立静岡がんセンター	静岡県	駿東郡長泉町	緩和ケア認定看護師養成事業	6,000,000
	東海ホスピス・緩和ケアナース交流会	愛知県	一宮市	東海北陸地域におけるホスピス緩和ケアネットワークの構築	630,000
	エフ・フィールド	三重県	桑名市	「日野原重明いのちの授業」普及活動	1,000,000
(社)	兵庫県看護協会	兵庫県	神戸市	訪問看護認定看護師養成事業	9,000,000
	広島大学	広島県	東広島市	緩和ケア認定看護師養成事業	9,000,000
	香川大学	香川県	高松市	緩和ケア認定看護師養成事業	4,200,000
(学)	久留米大学	福岡県	久留米市	緩和ケア認定看護師養成事業	11,000,000
	大分県立看護科学大学	大分県	大分市	訪問看護認定看護師養成事業	4,500,000
	沖縄がん心のケア研究会	沖縄県	那覇市	がん患者・家族の心のケアに関する研究会の開催	1,000,000
	日本ホスピス・在宅ケア研究会沖縄大会実行委員会	沖縄県	名護市	日本ホスピス・在宅ケア研究会沖縄大会の開催	1,000,000

●社会福祉の増進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	北海道移送・移動サービス連絡会	北海道	札幌市	自動検索システムの作成“(仮称)おでかけネット北海道”	790,000
(特)	北海道バイリンガルろう教育を推進する会 H B E D	北海道	札幌市	バイリンガルろう教育の研究事業	3,040,000
(特)	ホップ障害者地域生活支援センター	北海道	札幌市	地域を支えるインフォーマルサービスの可能性についての調査研究事業	1,450,000
(特)	わーかーびー	北海道	札幌市	共同住宅方式による障がい者の暮らしの場づくりについての実践調査	3,980,000
	こどもの夢ネットワーク	宮城県	刈田郡蔵王町	社会的養護の自立支援のための合同シンポジウムの開催	400,000
(特)	全国コミュニティライフサポートセンター	宮城県	仙台市	地域福祉活動推進に関する支援事業	6,000,000
(特)	みやぎ発達障害サポートネット	宮城県	仙台市	発達障害のある成人の方への「実践的」就労移行支援プログラムの実施	3,280,000
	SPN ネットワーク	茨城県	龍ヶ崎市	独立型社会福祉士(ソーシャルワーカー)事務所における実習施設としての活性化と費用対価の検討	1,000,000
(特)	リヴォルヴ学校教育研究所	茨城県	つくば市	小中学生の「英語読み書き困難」の実態調査と支援方法に関する実証研究	2,110,000
(特)	えじそんくらぶ	埼玉県	入間市	養護教諭および特別支援教育に関わるコーディネーター・教員へのストレスマネジメント	1,800,000
(特)	メディア・アクセス・サポートセンター	埼玉県	川口市	バリアフリー映画の制作のためのソフトウェアの開発	1,250,000
	君津地区自閉症協会	千葉県	木更津市	君津地区における自閉症の特性を理解したボランティア養成	600,000
	全国自立援助ホーム協議会	千葉県	君津市	全国自立援助ホーム協議会全国大会	1,000,000
(特)	地域精神保健福祉機構	千葉県	市川市	ACT(包括型地域生活支援プログラム)チームの立ち上げコンサルテーションおよび研修会の開催 リカバリー全国フォーラム 2011	4,650,000
(特)	NECST	千葉県	市川市	精神障害者ピアサポートに関する人材養成	3,500,000
(特)	発達わんぱく会	千葉県	浦安市	発達障がい児の早期発見「わが子の困り感に親が気付く」	1,000,000
(特)	エッジ	東京都	港区	発達障害を持つ児童生徒を対象にした学習支援員の地域普及モデル事業の実施	1,880,000
	L D親の「けやき」	東京都	青梅市	発達障害児と親を対象にした社会人養成講座プログラムの検証と実践報告	480,000
(特)	円プリオ基金センター	東京都	渋谷区	妊産婦相談カウンセラーの養成	520,000
(福)	桜雲会	東京都	新宿区	視覚障害の親のための子育て支援セミナーの実施等	1,730,000
(財)	癌研究会	東京都	江東区	がんの分子標的的研究及び開発	40,000,000
(財)	がんの子供を守る会	東京都	台東区	小児がん児童・家族への慰問活動事業	3,720,000
(社)	銀鈴会	東京都	港区	食道発声遠隔地巡回研修会	2,300,000
	子どもたちの100の言葉展実行委員会	東京都	渋谷区	子どもたちの100の言葉展 -芸術と教育と福祉の統合-	3,000,000
(特)	子どもへのまなざし	東京都	日野市	屋外型共同保育所の運営	2,000,000
(特)	災害看護支援機構	東京都	大田区	災害発生時の被災地における災害看護支援活動	1,000,000
(財)	笹川記念保健協力財団	東京都	港区	ハンセン病啓発活動 ハンセン病回復者及び家族の自立支援 日中笹川医学術交流支援事業等	219,030,000
(特)	シアタープランニングネットワーク	東京都	調布市	ケアリング・クラウン&アクター協働プロジェクトの実施	970,000
	肢体不自由者パソコン指導協会	東京都	世田谷区	障害者を対象にしたIT講習会及びパソコン機器整備	260,000
	障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会	東京都	小平市	グループホームにおけるサービス管理責任者のあり方及び育成の研修方法の研究	1,000,000
	ジョブサポーター	東京都	中野区	真心絶品に係る基幹業務の運営	5,000,000
	3keys	東京都	新宿区	児童養護施設への学習ボランティア派遣事業	1,000,000
(福)	世田谷ボランティア協会	東京都	世田谷区	ボランティアの参加を想定した防災訓練・避難所運営訓練のモデルづくり	360,000
(特)	全国移動サービスネットワーク	東京都	世田谷区	地域に生活交通・福祉交通を創る人材育成事業	1,510,000
(特)	全国LD親の会	東京都	渋谷区	発達障害児のための教材・教具データベースの構築と普及	1,600,000
(財)	全国里親会	東京都	港区	里親研修会の開催等	4,800,000

●社会福祉の増進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(福)	全国心身障害児福祉財団	東京都	新宿区	発達障害幼児等に対する支援ネットワークのフォローアップ事業	3,200,000
(特)	全国精神障害者団体連合会	東京都	狛江市	精神障害者の自立促進のための普及啓発事業	2,510,000
(特)	全国精神障害者地域生活支援協議会	東京都	新宿区	第15回全国大会 in 徳島及び全国ブロック研修会	3,200,000
(特)	全国精神保健福祉会連合会	東京都	豊島区	精神障がい者家族のピアサポート事業等	5,560,000
(特)	全国盲導犬施設連合会	東京都	新宿区	盲導犬歩行指導員等講座用DVD製作及びスクリーニングの実施	1,000,000
(財)	全日本聾唖連盟	東京都	新宿区	手話言語法(仮称)制定推進事業	7,920,000
(福)	全日本手をつなぐ育成会	東京都	港区	知的障害者向け情報提供事業 知的障害のある本人による「障害を知る・可能性を見るプロジェクト」	8,840,000
	第6回ファミリーホーム研究全国大会実行委員会	東京都	荒川区	第6回ファミリーホーム研究全国大会の開催	1,000,000
(社)	長寿社会文化協会	東京都	港区	コミュニティカフェの運営モデルの構築及びネットワーク化事業	2,660,000
	デザインングアビリティ	東京都	渋谷区	真心絶品に係る販売促進企画の推進	5,000,000
(財)	日中医学協会	東京都	千代田区	日中医学術交流促進 日中医学奨学事業等	190,280,000
(財)	日本アイバンク協会	東京都	千代田区	献眼登録者及び家族に対するフォローアップ事業	2,000,000
	日本医科大学高度救命救急センター	東京都	文京区	多数傷病者事案への医療対応に関する有識者会議の開催	1,000,000
(社)	日本筋ジストロフィー協会	東京都	新宿区	筋ジストロフィー児・者の自立支援事業	6,000,000
(学)	日本社会事業大学	東京都	清瀬市	聴覚障害者大学教育支援プロジェクト	18,660,000
(特)	日本セルフセンター	東京都	新宿区	障害者施設製品の商品力向上のための側面支援事業	5,000,000
	日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会	東京都	渋谷区	聴覚障害者に関わるソーシャルワーカーの研修会開催	600,000
(社)	日本糖尿病協会	東京都	千代田区	小児糖尿病生活指導講習会の実施	10,000,000
(一社)	日本発達障害ネットワーク	東京都	港区	JDD ネットセンター(発達障害のためのCenter of Center)の構築	17,400,000
(特)	パティチーム	東京都	新宿区	里親家庭ファミリーサポート事業の実施	1,000,000
(特)	P and A-J	東京都	国分寺市	企業のCSR活動と障害理解との関連およびその双方向的促進に関する研究	3,000,000
(学)	明晴学園	東京都	品川区	バイリンガル・バイカルチュラルろう教育の実践研究	3,760,000
(財)	ライフ・プランニング・センター	東京都	港区	国際フォーラムの開催 健康教育・ボランティア教育の啓蒙普及並びに調査研究 ターミナル・ケアの研究と人材の育成等	97,100,000
	リカバリーキャラバン隊	東京都	多摩市	リカバリー就労支援事業	870,000
(特)	エンパワメントかながわ	神奈川県	横浜市	障がいのある子どものための暴力防止(ほっと)プログラム普及啓発事業	1,220,000
(特)	救助犬訓練士協会	神奈川県	藤沢市	救助犬による災害救援活動のための出動体制の構築	500,000
	きょうだいの会	神奈川県	横浜市	障害児のきょうだいに対するメンタルヘルズ事業	950,000
	ヌジュミ	神奈川県	横浜市	女性のギャンブル依存症者のための社会復帰支援事業	1,000,000
	元気だそうぜ!富山福祉ネットワーク	富山県	高岡市	富山県内における障がい福祉に携わる事業従事者・社会起業家の人材育成	1,000,000
(特)	福祉ネットこうえん会	福井県	福井市	障害者就労支援事業に関する公開講座の開催	6,000,000
	Droplet Project	長野県	千曲市	障害児用コミュニケーション支援機器の無料試用システムの構築と活用セミナーの運営	960,000
(福)	長野県社会福祉事業団	長野県	長野市	知的障害者の地域生活移行に関する地域生活実態調査・検証事業	1,600,000
(社)	愛知県歯科医師会	愛知県	名古屋市	DNA採取・保管による危機管理対策	1,000,000
	愛知県自閉症協会	愛知県	名古屋市	ペアレントメンター応用研修の開催及び相談内容のデータベース化	1,000,000
	絆親子交流会	愛知県	稲沢市	里子養育に関する講演会等の開催	200,000

●社会福祉の増進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	子どもサポートネットあいち	愛知県	名古屋市	大学生と児童養護施設職員を対象とした連続講座の開催	2,000,000
	震災がつなぐ全国ネットワーク	愛知県	名古屋市	災害に備えた全国ネットワークの強化と地域防災への取り組み	3,000,000
(特)	発達障がいサポートネットてこぼこフレンズ	滋賀県	米原市	障害児のためのサマースクール「夏季休暇期間にスキルアップ」	1,120,000
(特)	大阪精神医療人権センター	大阪府	大阪市	精神科病院の療養環境の向上と入院患者のエンバワメント支援研究事業	1,920,000
	今後の難病対策関西勉強会実行委員会	大阪府	堺市	難病支援団体の勉強会の開催	300,000
(特)	チャイルド・ケモ・ハウス	大阪府	茨木市	小児がんに関わる人材の育成事業	2,000,000
(特)	トゥギャザー	大阪府	大阪市	障害者施設製品の商品力向上のための側面支援事業	4,200,000
	ネクストステージ大阪 LLP	大阪府	大阪市	地域参画型の発達障害当事者による発達障害者支援モデル開発プロジェクト	3,800,000
(特)	み・らいず	大阪府	大阪市	地域福祉において実践力のある人材育成プログラムの研究事業	2,000,000
(特)	PASネット	兵庫県	西宮市	地域の権利擁護支援に関する啓発・研修ツールの開発	6,000,000
(福)	寧楽ゆいの会	奈良県	奈良市	クラブハウスモデル発展に向けた研修体制のあり方等に関する調査研究	1,040,000
(特)	WRAP研究会	福岡県	久留米市	精神障害者の当事者活動に関する普及啓発	12,000,000
(特)	サザンウィンド	宮崎県	日南市	子供を知って楽しく暮らそう!セミナー	960,000

●犯罪被害者、自殺者の遺族に対する支援

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(一社)	北・ほっかいどう総合カウンセリング支援センター北・ほっかいどう被害者相談室	北海道	旭川市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,200,000
(公社)	あおもり被害者支援センター	青森県	青森市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	2,510,000
(社)	いわて被害者支援センター	岩手県	盛岡市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,880,000
(特)	蜘蛛の糸	秋田県	秋田市	自殺防止のモデル活動の実践	1,100,000
(社)	ふくしま被害者支援センター	福島県	福島市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	940,000
(社)	被害者支援センターとちぎ	栃木県	宇都宮市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,550,000
(福)	栃木いのちの電話	栃木県	宇都宮市	自死遺族支援「わかち合いの会」の運営	1,760,000
(特)	被害者支援センターすてっぷぐんま	群馬県	前橋市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,920,000
(福)	千葉いのちの電話	千葉県	千葉市	自死遺族支援「わかち合いの会」の運営	960,000
(公社)	被害者支援都民センター	東京都	新宿区	犯罪被害者へ直接的支援を実施するための人材育成等	7,100,000
(特)	全国被害者支援ネットワーク	東京都	文京区	犯罪被害者等支援に関する広報啓発及び支援体制整備等	33,800,000
(特)	自殺対策支援センターライフリンク	東京都	千代田区	自殺総合対策の推進	70,000,000
(公社)	にいがた被害者支援センター	新潟県	新潟市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	1,010,000
(一社)	とやま被害者支援センター	富山県	富山市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	4,000,000
(公社)	福井被害者支援センター	福井県	福井市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,120,000
(社)	被害者支援センターやまなし	山梨県	甲府市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	4,000,000
(公社)	ぎふ犯罪被害者支援センター	岐阜県	岐阜市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	2,400,000
(特)	おうみ犯罪被害者支援センター	滋賀県	大津市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,320,000
(特)	働く者のメンタルヘルス相談室	大阪府	大阪市	「私の中で今生きているあなた」巡回写真展等の実施	1,000,000
(社)	なら犯罪被害者支援センター	奈良県	奈良市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,120,000
(公社)	紀の国被害者支援センター	和歌山県	和歌山市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	4,800,000
(一社)	とっとり被害者支援センター	鳥取県	鳥取市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	3,040,000
(一社)	島根被害者サポートセンター	島根県	松江市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	2,800,000
(特)	こうち被害者支援センター	高知県	高知市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	2,860,000
(福)	佐賀いのちの電話	佐賀県	佐賀市	自死遺族支援「わかち合いの会」の運営	1,200,000
(公社)	大分被害者支援センター	大分県	大分市	犯罪被害者等に対する直接的支援活動の普及と定着	1,970,000

●親学「親が変われば子どもも変わる」の推進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	発達障害予防支援研究会	埼玉県	鶴ヶ島市	親学における発達障害の周知啓発	680,000
(特)	日本子守唄協会	東京都	台東区	「親学を考える～子守唄から親守唄まで～」	1,000,000
(一財)	親学推進協会	東京都	千代田区	「親学～親が変われば子どもも変わる～」の拠点整備	26,190,000
	感性・脳科学教育研究会	東京都	多摩市	親学における発達障害の周知啓発	480,000
(特)	親学会	神奈川県	川崎市	親学講座等の開催	790,000
(特)	沖縄の教育を考える会	沖縄県	島尻郡南風原町	親学講演会等の開催	610,000

●郷土愛の醸成を目指した郷土検定の推進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(社)	八戸観光コンベンション協会	青森県	八戸市	八戸ふるさと検定の実施	3,520,000
(社)	霞ヶ浦市民協会	茨城県	土浦市	第3回霞ヶ浦検定の実施	900,000
(社)	那須観光協会	栃木県	那須郡那須町	郷土検定サミットの開催	3,250,000
	木更津商工会議所	千葉県	木更津市	木更津ご当地検定の実施	1,500,000
	森山町内会「森山の歴史」作成実行委員会	東京都	あきる野市	森山の歴史検定の実施	1,000,000
(特)	地域自立ソフトウェア連携機構	東京都	新宿区	佐渡トキ検定の実施	1,860,000
(特)	ふるさと奥山の荘	新潟県	胎内市	胎内市ご当地検定の実施	840,000
	勝山商工会議所	福井県	勝山市	かつやまふるさと検定の実施	770,000
	真庭遺産研究会	岡山県	真庭市	真庭検定の実施	1,770,000
(特)	歩かぬ太宰府	福岡県	太宰府市	ガイド付まち歩きと太宰府子ども検定の実施	1,000,000
	ザ・ハカタ・リバイバル・プラン	福岡県	福岡市	はかた流検定の実施	2,000,000
	よろん学を後世に伝える会	鹿児島県	大島郡与論町	ゆんぬ検定の実施	680,000
	種子島観光協会	鹿児島県	熊毛郡種子町	種子島郷土検定の実施	800,000

●地域課題解決のためのチャリティ事業支援

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(公財)	札幌交響楽団	北海道	札幌市	海の日記念チャリティコンサート - 高齢者のための北広島リハビリセンター支援	4,000,000
(社)	山形交響楽協会	山形県	山形市	海の日記念チャリティコンサート - 山形いのちの電話支援	3,500,000
(特)	日本ファンドレイジング協会	東京都	港区	寄付文化の醸成及び非営利組織の資金開拓力の強化	26,500,000
(特)	八王子楽友協会	東京都	八王子市	日独交流演奏会によるチャリティ事業の実施	2,530,000
	座・スーパーマーケット	東京都	葛飾区	アジア・アフリカ視覚障害留学生支援チャリティコンサートの開催	2,100,000
(財)	東京フィルハーモニー交響楽団	東京都	新宿区	海の日記念チャリティコンサート - がん教育基金支援	4,000,000
(一社)	東京ニューシティ管弦楽団	東京都	練馬区	はいだしょうこファミリーコンサート～オーケストラといっしょ～の開催	3,800,000
	犯罪被害者支援チャリティ音楽祭実行委員会	三重県	津市	犯罪被害者支援チャリティ音楽祭の開催	3,250,000
(特)	音楽のまちづくり	京都府	京丹後市	障害者施設等訪問公演及びクラシックコンサートによるチャリティ事業の実施	1,800,000
(社)	大阪フィルハーモニー協会	大阪府	大阪市	海の日記念チャリティコンサート - がん教育基金支援	4,000,000
(特)	ソーシャル・デザイン・ファンド	兵庫県	宝塚市	こどもがつくる夢応援チャリティキャンペーン「ゆめのはこ 2011」の実施	4,240,000
	神戸を元気に!チャリティーコンサート実行委員会	兵庫県	神戸市	神戸を元気に!チャリティーコンサートの開催	5,000,000
(財)	九州交響楽団	福岡県	福岡市	海の日記念チャリティコンサート - 子どもにやさしいまちづくりネットワーク支援	4,000,000
	子どもの村福岡支援実行委員会	福岡県	福岡市	クラシックコンサート公演によるチャリティ事業の実施	5,000,000

●自主防犯活動の活性化を目指した青パトの配備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	山本防犯パトロール隊	栃木県	宇都宮市	地域防犯活動推進のための青パトの購入	1,300,000
(特)	消防記念新潟保存会	新潟県	新潟市	地域防犯活動推進のための青パトの購入	1,300,000
	陶都有田自主防犯ボランティア団体連合会	佐賀県	西松浦郡有田町	地域防犯活動推進のための青パトの購入	1,300,000
	玄海町青少年育成町民会議	佐賀県	東松浦郡玄海町	地域防犯活動推進のための青パトの購入	1,300,000

●農業復興のための先駆的な仕組みづくり

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	芋麻倶楽部	福島県	大沼郡昭和村	「コミュニティ・ファーマー」育成プログラムの開発・実施	6,400,000
(特)	農家のこせがねネットワーク	東京都	港区	農家のkosegare 帰農支援プラットフォームづくり	7,400,000
(特)	農商工連携サポートセンター	東京都	千代田区	農商工連携事業の発掘・育成による農業と地域の活性化	1,160,000
(特)	湘南スタイル	神奈川県	茅ヶ崎市	湘南みかんパートナーシップによる地域活性化	3,120,000
(特)	アキハ・ロハス・アクション	新潟県	新潟市	里山の未利用資源を掘り起こしによる 碓氷地区活性化プロジェクトの実施	2,320,000
(特)	野外教育学修センター魚沼伝習館	新潟県	南魚沼市	「農・林で考える田舎暮らし研究会」の実施	6,880,000
(特)	えがおつなげて	山梨県	北杜市	農村活性化人材育成のためのeラーニングシステムの開発	4,600,000
(特)	グローバルヒューマン	京都府	南丹市	共生養殖田による新農法モデルの確立	9,570,000
(特)	棚田LOVER's	兵庫県	神崎郡市川町	学生や若者の農作業体験による担い手の育成と 特産品販売による地域活性化	1,100,000
(特)	ウヤギー沖縄	沖縄県	沖縄市	伝統農法とブランド化による農業復興のための セミナー開催と特産品生産・開発	4,110,000

●ボランティア参加型の間伐材の搬出システムの構築

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	里山クリーン新潟	新潟県	阿賀野市	間伐材の搬出に関わる機材整備	1,760,000
(特)	杉の杜学舎	岐阜県	美濃市	間伐材の搬出に関わる機材整備	1,830,000
(財)	泉佐野市公園緑化協会	大阪府	泉佐野市	間伐材の搬出システムに関わる機材購入	1,960,000
(特)	土佐の森・救援隊	高知県	高知市	間伐材の搬出に関わる機材整備	1,320,000
(特)	プロジェクト南からの潮流	鹿児島県	南さつま市	間伐材の搬出に係る機材整備	1,970,000

●防災林としての鎮守の森、学校林の再生

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	「多摩工森づくり100」実行委員会	東京都	福生市	防災林としての学校林の再生	4,990,000
	つながる森づくり実行委員会	東京都	千代田区	いのちの森づくり植樹祭キャンペーンの実施	5,000,000

●大学などの地域資源を活かした社会貢献支援

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(学)	東北公益文科大学 地域共創センター	山形県	酒田市	小学生のための実践授業「公益学をはじめよう」の実施と公益コミュニティサポーターの養成	1,820,000
	ふくしま「伝統文化未来広場」実行委員会	福島県	福島市	ふくしま「伝統文化未来広場」の開催	1,000,000
	日本おもちゃ病院協会	東京都	新宿区	壊れたおもちゃを修理するおもちゃ病院の部品購入	560,000
	町田市立つくし野小学校 ピオトッププロジェクト	東京都	町田市	地域連携型環境教育推進のための整備	620,000
(特)	サービスマン	東京都	渋谷区	NPO・公共セクターの基盤整備に資する サービスマンの地域展開	5,000,000
	- NAVI	東京都	板橋区	信楽町における協働による地域活性化イベントの開催	670,000
	m t t	東京都	渋谷区	十和田市における地域活性化のための芸術振興	1,000,000
	親学を育成する会・富山	富山県	富山市	地域資源と地方新聞を活用した親学の実施	1,000,000
	金沢大学	石川県	金沢市	里山里海の生業と生態を学び教える 「能登いきものマイスター」の養成	3,600,000
	かなざわピンクリボンプロジェクト 実行委員会	石川県	金沢市	新聞社との協働による中学生に対するがん啓発	5,000,000
	自然科学の基礎を訪ねる実行委員会	大阪府	大阪市	青少年の自発的な理科啓発教育の推進	2,000,000
	晴れの国野生生物研究会	鳥取県	東伯郡琴浦町	古道「大山道」の保存復元と住民参加による 地域資源活用プログラムの開発	900,000
(一社)	ジャパン・オンパク	大分県	別府市	地域におけるオンパク人材育成のための研修の実施	4,360,000

●社会・生活一般

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	北の森と川・環境ネットワーク	北海道	函館市	作業所、保育所、小学校等と連携した育苗と植苗の実施	1,170,000
(特)	ブナの木	群馬県	前橋市	過疎地の小規模小学校を対象とした劇団の巡演	1,000,000
(特)	赤城自然塾	群馬県	前橋市	赤城地域における松枯れ地域再生プロジェクト	2,000,000
(特)	ユース・サポート・センター・友誼塾	千葉県	千葉市	若者による森の空間づくりのための機材整備	1,290,000
(財)	中国残留孤児援護基金	東京都	港区	中国・サハリン残留日本人国籍取得に係る支援	2,960,000
(公財)	世界平和研究所	東京都	港区	東アジアにおける海洋国家日本の課題と針路に関する 調査研究	9,720,000
(特)	日本学生ボランティアセンター(申請中)	東京都	港区	学生ボランティア活動への支援	49,380,000
(特)	NPOカタリバ	東京都	杉並区	「カタリ場」モデルの地方展開とテキスト作成	3,870,000
(福)	日本国際社会事業団	東京都	目黒区	国境を越えた未成年者の家族再会援助	8,000,000
(財)	日本科学技術振興財団	東京都	千代田区	「犯罪捜査で活用される科学技術」に関する 巡回展示の実施	7,200,000
(財)	日本科学協会	東京都	港区	科学振興のための研究助成と研究交流等	344,200,000
(財)	地域伝統芸能活用センター	東京都	新宿区	地域伝統芸能全国フェスティバルあおもりの開催	11,820,000
(社)	日本観光協会	東京都	中央区	総合観光調査の実施等	24,300,000
(公財)	日本交響楽振興財団	東京都	千代田区	小学校における通年音楽教育プログラムの実施	6,000,000
(財)	日本音楽財団	東京都	港区	音楽文化の振興等	233,500,000
(特)	海外に子ども用車椅子を送る会	東京都	福生市	海外の肢体不自由な子ども達への車椅子寄贈	600,000
(特)	ユーラシア21研究所	東京都	港区	日露関係の新たな発展のための調査研究の推進	70,000,000
(特)	アジア友好の家(FAH)	東京都	新宿区	在日ミャンマー人の救済と関係機関との連携	2,500,000
(社)	全国高等学校PTA連合会	東京都	千代田区	高校生の育成環境改善のための継続的実態調査	2,720,000
(財)	ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	東京都	港区	親子ふれあいプログラムの開催と地域指導者の養成	4,300,000
(一社)	日本マーチングバンド・ パトントワーリング協会	東京都	台東区	マーチングバンド・パトントワーリング アジア大会2011の開催	5,000,000
(財)	小野田自然塾	東京都	中央区	「人は一人では生きられない」講演会の開催	5,000,000
(特)	放課後NPOアフタースクール	東京都	世田谷区	放課後プログラムの実施と検証	1,720,000

●社会・生活一般

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	NPO 早稲田環境教育推進機構	東京都	練馬区	早稲田大学とNPOで実践する地域連携型の環境教育の実施	1,000,000
(社)	青少年交友協会	東京都	豊島区	新宿-青梅43kmかち歩き大会	4,500,000
(特)	21世紀構想研究会	東京都	江東区	全国学校給食甲子園の開催	7,120,000
(特)	コドモ・ワカモノまちing	東京都	千代田区	移動式子ども基地モデルづくり	4,150,000
(財)	地方自治研究機構	東京都	千代田区	地域主権改革に対応した地方行財政制度のあり方に関する調査研究等	25,360,000
(財)	地方債協会	東京都	千代田区	地方債に関する研修会・講演会の開催等	13,500,000
(財)	全日本剣道道場連盟	東京都	大田区	剣道の普及振興等	57,880,000
(財)	日本相撲連盟	東京都	新宿区	相撲の普及振興	5,320,000
(財)	笹川スポーツ財団	東京都	港区	スポーツ振興のための研究調査等	395,490,000
(財)	日本ゲートボール連合	東京都	港区	ゲートボールの振興等	102,150,000
(社)	全日本郷土芸能協会	東京都	港区	全国こども民俗芸能大会の開催	5,700,000
(財)	日本太鼓連盟	東京都	港区	日本太鼓文化の振興等	150,500,000
(特)	トリトン・アーツ・ネットワーク	東京都	中央区	日本音楽集団との協働による小学校音楽普及プログラム	1,000,000
(公財)	江戸糸あやつり人形 結城座	東京都	小金井市	江戸糸あやつり人形公演を通じた地域コミュニティづくりの実施	2,220,000
(財)	日本吟剣詩舞振興会	東京都	港区	吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催等	18,100,000
(公財)	日本刀文化振興協会	東京都	大田区	新作日本刀・刀職技術コンクールの開催	5,560,000
(特)	かながわ子ども教室	神奈川県	鎌倉市	シニア世代による放課後児童教室への体験的教育の推進	1,440,000
(特)	全国てらこやネットワーク	神奈川県	鎌倉市	「てらこや」を活用したお寺お宿の実施	560,000
	キズキ共育塾	神奈川県	横須賀市	就労のための学び直し支援	800,000
(財)	鎌倉能舞台	神奈川県	鎌倉市	鎌倉能舞台子どもワークショップの開催	2,800,000
	大正琴&ベル&朗読劇団 ONE ハート	神奈川県	綾瀬市	神奈川県6市の民話脚本集の製作	1,000,000
(財)	金子子ども科学財団	石川県	金沢市	親子科学教室及びオープンスクールの開催	1,150,000
(財)	芸術文化振興会 駒ヶ根高原美術館	長野県	駒ヶ根市	ゴヤの「妄」から人間の内面を学ぶ中学生のためのワークショップ開催	510,000
(財)	名古屋フィルハーモニー交響楽団	愛知県	名古屋市	障害者のための交響楽コンサート開催	9,200,000
(特)	日本子どもの虐待防止民間ネットワーク	愛知県	名古屋市	子どもの性的虐待に対する初期対応研修の実施	2,800,000
	リトルそれいゆ	愛知県	北名古屋市	環境をテーマにした演劇ワークショップの開催	490,000
	チャンス	愛知県	名古屋市	離婚家庭の子どもたちの学習支援・体験活動及び支援者養成の実施	1,000,000
(社)	大正琴協会	愛知県	名古屋市	小中高等学校における大正琴伝承教育の実施	4,320,000
	一色町能楽保存会	三重県	伊勢市	一色能の継承活動に係る道具整備	960,000
	音禅法要実行委員会	京都府	京都市	禅文化を伝える「音禅法要」の開催	2,560,000
(財)	アジア太平洋観光交流センター	大阪府	大阪市	世界の観光統計の収集・分析及び情報提供	1,400,000
(財)	日本室内楽振興財団	大阪府	大阪市	第7回大阪国際室内楽コンクール&フェスタの開催	10,000,000
(財)	全日本なぎなた連盟	兵庫県	伊丹市	なぎなたの普及振興	4,750,000
(特)	地域密着型相談センター とまり木	奈良県	奈良市	子どものシェルター「とまり木」ハウスの整備/民家改修	2,300,000
(社)	岡山県文化連盟	岡山県	岡山市	人材バンクによる伝統文化出前講座の実施	1,760,000
(財)	西日本文化協会	福岡県	福岡市	離島の小中学校における芸術・芸能公演とワークショップの開催	2,480,000
(特)	子どもNPOセンター福岡	福岡県	福岡市	「ふくおか子ども白書」を活かした子ども支援の検討	1,940,000
(特)	世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネット	福岡県	八女市	第21回世界子ども愛樹祭コンクールの開催	1,000,000
	伊作和紙を復興する会	鹿児島県	日置市	伊作和紙復興のための体験教室・コンテストの開催	1,000,000

計 531団体 579事業 4,004,960,000円

※2011年4月1日に決定した事業・団体の一覧です。
 ※1つの団体の事業が、複数の事業テーマに分かれているため、団体の数の合計は一致しません。
 ※団体の法人格の略称
 (財):財団法人 (社):社団法人 (福):社会福祉法人 (特):特定非営利活動法人 (独法):独立行政法人 (学):学校法人

●船舶・海運技術の研究開発と産業の基盤強化

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
	室蘭工業大学	北海道	室蘭市	シップリサイクルにおける切断技術の開発研究	4,600,000
(社)	日本海事検定協会	東京都	中央区	危険物の海上運送に関する調査研究	8,800,000
(社)	日本船舶品質管理協会	東京都	千代田区	認定事業場の品質管理向上のための人材養成 船用品等の法令研究及び情報提供 個人用捜索救助用ビーコン(PLB)の技術開発 昼間信号灯(携帯型)のLED化に関する技術開発等	118,890,000
(社)	日本船用機関整備協会	東京都	千代田区	実技講習会の開催 船用機関整備士の資格検定等の開催	25,430,000
(社)	日本船舶機関士協会	東京都	千代田区	内航海運の省エネルギーに係る運用調査研究開発	10,280,000
(社)	日本中小型造船工業会	東京都	港区	海外展示会への参加 進水式的一般公開等	102,500,000
(社)	日本造船協力事業者団体連合会	東京都	港区	安全管理者に対する危険排除のノウハウ等の伝承 出張型災害疑似体験教育事業 リスクアセスメント担当者研修の実施事業等	115,500,000
	日本船舶輸出組合	東京都	港区	国際海事展への参加	25,070,000
(財)	シップ・アンド・オーシャン財団	東京都	港区	排出規制海域設定による大気環境改善効果の算定事業 外航海運からのCO2削減のためのコスト算定と比較事業	62,000,000
(財)	東京エムオウユウ事務局	東京都	港区	東京MOUに隣接するPSC地域組織への専門家派遣等	39,350,000
(社)	日本船舶電装協会	東京都	港区	船舶の電気設備に関する技術指導等の実施 小型船舶等の電気設備工事ハンドブックの改訂等	69,000,000
(公社)	日本船舶海洋工学会	東京都	港区	造船分野における技術者育成のための教科書編纂事業 アジア船舶海洋工学会フォーラムの開催	10,600,000
(財)	日本船舶技術研究協会	東京都	港区	船舶関係諸基準に関する調査研究 国際海運におけるエネルギー効率化に向けた枠組み作り(フェーズ2) 造船関連海外情報収集及び海外業務協力 船舶関係工業標準化等	871,170,000
(社)	日本船用工業会	東京都	港区	中国における船用工業製品に係る模倣品防止対策 複合材料による高効率低コスト型プロペラの技術開発 内航船ディーゼル主機関の排熱を利用した主機燃料油加熱システムに関する技術開発(実船試験) 環境負荷を大幅に低減する船用ガスエンジンの技術開発 次世代型小型高速操舵装置の技術開発 2サイクル大形機関搭載船ハイブリッド推進システムの技術開発 排熱回収型サイレンサに関する技術開発 船用工業の海外海事展への参加・広報等	317,410,000
(財)	舟艇協会	東京都	港区	"Made in Japan プレジャーボート"の新興国市場参入に関する調査	6,420,000
(社)	日本マリンエンジニアリング学会	東京都	港区	マリンエンジニアリング入門教育プログラムの構築	2,700,000
(財)	関西交通経済研究センター	大阪府	大阪市西区	関西圏の交通経済に関する周知啓発	19,000,000
(特)	与論情報化グループ e-Ok	鹿児島県	大島郡与論町	Google Earthと3次元海中マップを活用したサンゴ礁の監視システム構築	2,880,000

●海洋に関する研究及び情報・体制の整備

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(財)	日本水路協会	東京都	大田区	海洋の歴史的な資料等の保存及び公開	104,770,000
				海図国際基準の情報収集と国際的な海図専門家の育成	
				水路分野の国際的動向に関する調査研究等	
(財)	熱帯海洋生態研究振興財団	東京都	品川区	安定かつ生態学的機能の高いサンゴ群集からなるサンゴ礁の修復技術の開発	11,600,000
(財)	東京大学	東京都	文京区	海洋国家日本を支える教育研究拠点の構築(日本財団講座)	530,700,000
(財)	シップ・アンド・オーシャン財団	東京都	港区	東アジア海域における安全保障環境に関する研究事業	508,060,000
				海洋の総合管理に関する調査研究事業	
				海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究及び条件整備事業	
				海洋環境に関する調査研究事業	
				海洋関連分野における国際協力の推進事業	
横浜国立大学	神奈川県	横浜市	地域学習を基盤とした「海の学習」の開発(日本財団海洋教育プログラム)	50,680,000	
			「統合的海洋管理プログラム」の設置(日本財団講座)		
(財)	京都大学フィールド科学教育研究センター	京都府	京都市	「海域陸域統合管理学」の設置(日本財団講座)	28,880,000
(特)	アジア水中考古学研究所	福岡県	福岡市	水中文化遺産データベース作成と水中考古学の推進	37,600,000
(財)	琉球大学	沖縄県	中頭郡西原町	海を活かした教育に関する実践研究(日本財団海洋教育プログラム)	65,000,000

●航行の安全確保及び海上災害対策

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(財)	海上保安協会	東京都	中央区	海上保安協力員の活動推進	75,370,000
				民間組織による海上保安の推進(海守)等	
(社)	日本海員救済会	東京都	中央区	医療機器の整備	31,960,000
(財)	海難審判協会	東京都	千代田区	海難審判扶助等	37,200,000
(財)	漁場油濁被害救済基金	東京都	千代田区	漁場油濁防除清掃	8,100,000
(社)	日本水難救済会	東京都	千代田区	救助出動報奨	96,900,000
				海難救助訓練等	
(社)	日本海難防止協会	東京都	港区	海事の国際的動向に関する調査研究(海上安全・海洋汚染防止)	339,340,000
				漂着ごみの油化に関する広域社会実験事業 一宝の島プロジェクト・離島キャラバン隊の派遣	
				アジア海上保安機関長官級会合の開催	
				海難防止等情報誌の発行・配布	
				海上安全に関する国際情報収集活動事業	
				ASEAN地域におけるHNS事故対応体制の強化	
(特)	日本ライフセービング協会	東京都	港区	ジュニアライフセービング教室の開催および指導者養成プログラムの開発等	14,410,000
				ライフセービング活動の基盤強化にかかる器材配備	
(独法)	海上災害防止センター	神奈川県	横浜市	大規模海上災害対応体制の整備 海上防災訓練の充実強化	85,460,000
(社)	関東小型船安全協会	神奈川県	横浜市	小型船舶の安全確保	3,960,000
(社)	中部小型船安全協会	愛知県	名古屋	小型船舶の安全確保	4,490,000
(社)	関西小型船安全協会	兵庫県	西宮市	小型船舶の安全確保	3,670,000
(社)	瀬戸内海小型船安全協会	広島県	広島市	小型船舶の安全確保	6,000,000
(社)	九州北部小型船安全協会	福岡県	北九州市	小型船舶の安全確保	5,000,000

●海・船に関する国民の理解促進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(財)	現代版北前船プロジェクト実行委員会	北海道	小樽市	「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト(観光資産の活用)	1,980,000
(財)	小樽ライフセービングクラブ	北海道	札幌市	「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト(海辺の安全管理体制の強化)	1,880,000
(特)	冒険クラブ	北海道	札幌市	北海道神恵内を中心とした海洋体験教室の開催等	2,000,000
(特)	ほっかいどう海の学校	北海道	札幌市	「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト(海洋体験教室の開催)	1,940,000
(特)	語りつぐ青函連絡船の会	北海道	函館市	海と船の企画展「青函連絡船と津軽海峡の旅」	2,000,000
(特)	Orca.org さかまた組	北海道	室蘭市	釧路沖シャチ調査と海洋研究者やガイドを目指す若者の育成	1,750,000
(特)	漂着アザラシの会	北海道	中川郡	北海道十勝地方における海獣、海鳥、海岸漂着物に関する調査と普及活動	1,350,000
(特)	あおもりみなとクラブ	青森県	青森市	海と船の企画展「青函連絡船のその後」	4,040,000
(公財)	みちのく北方漁船博物館財団	青森県	青森市	海と船の企画展「絵図にみる青森湾の景観」	6,560,000
				大学生を対象とした木造和船の製作技術体験	
(特)	企業組合かぶあがり	青森県	八戸市	マリエントちきゅうたんけんクラブ	1,990,000
(特)	NPO みなとしほがま	宮城県	塩竈市	海と船の企画展「日本三景 松島の海」	3,360,000
(特)	公益のふるさと創り鶴岡	山形県	鶴岡市	美しいやまがたの海プラットフォーム・スポーツごみ拾い in 庄内大会	900,000
(特)	いわき地域環境科学会	福島県	いわき市	いわきの海岸環境復元プロジェクト	1,700,000
(特)	海上労働安全衛生研究会	群馬県	高崎市	北海道の漁業における安全のための自主改善活動のあり方の研究	1,150,000
(特)	いすみ市観光協会	千葉県	いすみ市	「渚の交番」プロジェクトの推進(千葉県九十九里浜・いすみ市)	1,980,000
(特)	三番瀬環境市民センター	千葉県	市川市	「渚の交番」プロジェクトの推進(千葉県三番瀬)	6,400,000
(特)	日本プロライフガード協会	千葉県	長生郡	「渚の交番」プロジェクトの推進(千葉県九十九里浜)	2,050,000
(特)	ふるさと東京を考える実行委員会	東京都	江戸川区	東京湾海水浴場復活プロジェクト	5,410,000
(社)	東京都港漁振興協会	東京都	江東区	小学生等を対象とした海事施設等見学研修の実施	4,560,000
(財)	日本海事科学振興財団	東京都	品川区	海と船の博物館ネットワーク活動	817,500,000
				海事科学知識の普及啓蒙活動	
				博物館の機能整備	
(財)	日本野鳥の会	東京都	品川区	カンムリウミスズメの保護	6,290,000
(特)	全国水環境交流会	東京都	渋谷区	干潟保全・河川環境保全のための日韓青少年研修プログラム	1,550,000
(特)	野外教育事業所ワンバク大学	東京都	新宿区	三宅島 & 御蔵島 親子黒潮海洋体験	1,030,000
(特)	海と漁の体験研究所	東京都	杉並区	「地域連携型事業」による積丹町美しい海づくりプロジェクト(地域の海洋教育読本づくり)	1,890,000
(特)	生態工房	東京都	杉並区	がたモニ 江戸前干潟モニタリングによる市民参加型・持続可能な保全活動の構築	1,990,000
(特)	中村征夫フォトギャラリーブルーホール	東京都	世田谷区	海と船の企画展「海を見つめて」	2,000,000
(特)	気象キャスターネットワーク	東京都	台東区	「海の安全と環境」出前授業・イベントの実施	4,080,000
(特)	ウーマンズフォーラム魚	東京都	中央区	海彦クラブ 子供の海フォーラム	2,000,000
(財)	日本海事広報協会	東京都	中央区	青少年の海事意識啓発	79,150,000
				海事資料電子データ化の構築・公開等	
(特)	日本国際湿地保全連合	東京都	中央区	干潟の市民調査と人材育成	2,000,000
(特)	日本ビーチ文化振興協会	東京都	中央区	新たな海辺文化の創造を通じた地域コミュニティの再生	10,500,000
(財)	漁港漁場漁村技術研究所	東京都	千代田区	学校給食を通じた漁港漁村の活性化	7,600,000
(社)	日本マリナー・ビーチ協会	東京都	千代田区	マリナー等を活用した体験乗船学習の推進	1,820,000
(特)	OWS	東京都	豊島区	海辺の環境教育プログラム	1,500,000
(特)	海塾	東京都	港区	発達障害児童の療育を目的とした水辺の環境学習プログラムの開発	1,500,000



●海・船に関する国民の理解促進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(財)	笹川スポーツ財団	東京都	港区	スポーツ振興機関との連携(ウォータースポーツ団体)	15,000,000
(財)	ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	東京都	港区	B&G人材バンク	800,480,000
				水の事故をゼロにするための周知活動の実施	
				学校教育等と連携した水辺での体験プログラムの普及	
				海洋性レクリエーション指導員の養成	
				地域海洋センターおよび海洋クラブの施設整備	
海洋体験学習の実施等					
(特)	水と緑の環境ネットワークの会	東京都	日野市	きれいな海で遊び隊プロジェクト	2,000,000
	鎌倉マリンスポーツ連盟	神奈川県	鎌倉市	「渚の交番」プロジェクトの推進(鎌倉)	1,980,000
	NPO地球の楽校	神奈川県	鎌倉市	「海のまち鎌倉」プロジェクト	1,940,000
(特)	earthlysoul	神奈川県	茅ヶ崎市	海で遊ぶ、海に学ぶ、海に感謝する 2011	2,000,000
(特)	日本プロウインドサーファー協会	神奈川県	三浦郡葉山町	「渚の交番」プロジェクトの推進(静岡県御前崎市)	10,440,000
(特)	エバーラスティング・ネイチャー	神奈川県	横浜市	小笠原諸島におけるアオウミガメとザトウクジラの調査のための研究と人材育成	4,720,000
(財)	帆船日本丸記念財団	神奈川県	横浜市	海と船の企画展「横浜港と生糸貿易」	11,950,000
				海と船の企画展「憧れのクルーズ」	
(一社)	横浜水辺のまちづくり協議会	神奈川県	横浜市	大学生を対象とする、シーカヤック体験を海洋の総合的理解促進のための授業として普及させるためのモデル事業 水辺のルールづくりに向けた調査・研究	10,910,000
(特)	アートNPOヒミング	富山県	氷見市	過去と未来をつなぐ天馬船プロジェクト	5,640,000
	九頭龍ドラゴンボート協会	福井県	福井市	九頭龍ドラゴンボート大会の開催	1,000,000
	MaMas & Takos	静岡県	伊豆市	親子で楽しむ磯遊び・スノーケリング教室とスタッフ養成研修の開催	600,000
	海藻おしぼり協会	静岡県	伊豆市	海藻おしぼりに関する事業	1,800,000
	ビューティフルビーチ FOR アクショングループ	静岡県	御前崎市	御前崎市「渚の交番」と連携した定期的漂着ゴミの回収事業	380,000
	海辺工房ひとで	静岡県	静岡市	親子で親しむ身近な海	670,000
(学)	東海大学海洋科学博物館	静岡県	静岡市	海と船の企画展「すべては海から始まった～A Living Fossil～」	5,640,000
	A・L・B・S (新居ローカルビーチセイバー)	静岡県	浜松市	新居町大倉戸海岸における海岸美化活動	1,210,000
(特)	楽笑	愛知県	蒲都市	三谷地区における「三谷漁港」という社会資源の有効活用と人材育成	1,200,000
(財)	東海水産科学協会 海の博物館	三重県	鳥羽市	海と船の企画展「日本列島 海女さん大集合」	1,790,000
	故郷の海を愛する会	三重県	松阪市	造船所及び海上コンテナヤードの小中学生を対象とした見学会の実施	1,300,000
	環境レイカーズ	滋賀県	近江八幡市	海、湖をつなげよう「棕川ビレッジキャンプ」	1,180,000
(特)	赤煉瓦倶楽部舞鶴	京都府	舞鶴市	まいづるRB 船のワークショップ『種は船 in 舞鶴』	8,140,000
(公財)	兵庫県青少年本部	兵庫県	神戸市	“ひょうごいえしま”春・夏・秋ファミリーヨット体験学校事業	850,000
	冒険あそび倉庫	和歌山県	和歌山市	友ヶ島海岸の清掃体験とリサイクル工作	670,000
(特)	子ども教育支援	和歌山県	有田郡 有田川町	わかやま海の学校プロジェクト 2011～海をテーマとした授業プログラムの開発・普及活動～	1,470,000
(特)	浜田ライフセービングクラブ	島根県	浜田市	「渚の交番」プロジェクトの推進(島根県浜田市)	10,860,000
	柿ピカリア会	岡山県	奈義町	海と船の企画展「古代の海と生物の進化」	2,000,000
	江田島カヌークラブ	広島県	江田島市	カヌーを利用した江田島の活性化	1,890,000
(特)	呉サポートセンター くれシェンド	広島県	呉市	大和ミュージアムとの連携による展示・収蔵資料等を活用した「呉の歴史」再発見事業	3,200,000
	とくしま自然観察の会	徳島県	徳島市	徳島吉野川沿岸における自然観察会及び和船体験の実施	1,300,000
	今治市海事都市交流委員会	愛媛県	今治市	バリシップ 2011 を通じた次世代の海事人材育成事業と海事産業の振興	1,890,000

●海・船に関する国民の理解促進

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	アジア・フィルム・ネットワーク	愛媛県	松山市	漂流物の観察や分類などによる物語の創作及び学習活動の実施～ものがたり海岸 2011～	2,000,000
(財)	高知県文化財団	高知県	高知市	海と船の企画展「風になった龍馬」VOL. 3～時代は未来へ～勝海舟・ジョン万次郎・龍馬 同じ夢に結ばれて	13,000,000
(財)	松浦史料博物館	長崎県	平戸市	海と船の企画展「自由港市平戸」	3,970,000
(特)	おおいた環境保全フォーラム	大分県	大分市	大分県における協働型のアカウミガメ保護と海の環境保全	1,760,000
	潮っ子ウミガメ隊	宮崎県	日南市	日南海岸における海洋環境保護活動及び「渚の交番」を活用した活動写真の展示	760,000
(特)	宮崎くじら研究会	宮崎県	宮崎市	「渚の交番」を活用した海の環境学習活動	810,000
(社)	宮崎県観光協会	宮崎県	宮崎市	「渚の交番」プロジェクトの推進(宮崎県青島)	23,800,000
(特)	宮崎ライフセービングクラブ	宮崎県	宮崎市	「渚の交番」プロジェクトの推進(宮崎県青島)	4,510,000
(特)	エコ・リンク・アソシエーション	鹿児島県	南さつま市	東シナ海ふるさとの海づくりプロジェクト	2,000,000
	八重山漁協観賞魚部会サンゴ養殖研究班	沖縄県	石垣市	サンゴ養殖体験学習の実施	1,900,000

●その他、海や船に関する事業

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(公財)	札幌交響楽団	北海道	札幌市	海の日記念チャリティコンサート - 高齢者のための北広島リハビリセンター支援 -	4,000,000
(社)	山形交響楽協会	山形県	山形市	海の日記念チャリティコンサート - 山形いのちの電話支援 -	3,500,000
(特)	ETIC.	東京都	渋谷区	地域再生に挑む起業家型人材の発掘・育成事業(地域イノベーター養成アカデミー)	14,310,000
(公社)	日本カヌー連盟	東京都	渋谷区	カヌーを活用した親水活動のための研修会の開催	4,280,000
(財)	日本セーリング連盟	東京都	渋谷区	セーリング体験を通じた親水活動の普及	7,280,000
(財)	東京フィルハーモニー交響楽団	東京都	新宿区	海の日記念チャリティコンサート - がん教育基金支援 -	4,000,000
(特)	共存の森ネットワーク	東京都	世田谷区	海・川の名人の「聞き書き」を通じた青少年の育成	6,000,000
(財)	日本貿易関係手続簡易化協会	東京都	中央区	貿易関係手続の簡易化及び効率化の推進	19,000,000
(社)	日本海事代理士会	東京都	中央区	国際船舶の日本籍船化のための手続に関する調査研究	2,750,000
(社)	海外運輸協力協会	東京都	中央区	運輸分野における国際協力	33,000,000
(財)	運輸振興協会	東京都	千代田区	運輸交通分野に関する周知啓発	39,800,000
(財)	交通エコロジー・モビリティ財団	東京都	千代田区	海上交通バリアフリー施設整備助成	121,800,000
				旅客船における高齢者及び障害者等乗下船装置の開発	
				国内旅客船バリアフリー化推進のための調査研究	
(社)	日本モーターボート選手会	東京都	港区	勤労青少年水上スポーツセンターの運営	40,000,000
(公財)	社会貢献支援財団	東京都	港区	海難救助等社会貢献者の表彰等	77,700,000
(財)	運輸政策研究機構	東京都	港区	海上保安に関する国際協力・連携分野での日米協調等の構築に関する調査	687,380,000
				地球温暖化を踏まえた ASEAN の長期交通行動計画に関する研究	
				鉄道による低炭素社会の実現に向けた研究推進等	
	CASE 学生環境サミット	東京都	港区	CASE4 串本海域学生環境サミット	2,000,000
(財)	日本科学協会	東京都	港区	海洋・船舶科学研究助成 体感型実験装置群による巡回展の開催等	107,400,000
(財)	日本船員厚生協会	神奈川県	川崎市	戸畑海員会館の改修	25,920,000
(特)	ウォーターリスクマネジメント協会	神奈川県	横浜市	「青パイ隊」プロジェクトの推進(レスキュー技術向上)	7,760,000
	サーフ90 藤沢ライフセービングクラブ	神奈川県	藤沢市	「青パイ隊」プロジェクトの推進(神奈川県鶴沼海岸)	2,000,000
(特)	パーソナルウォータークラフト安全協会	静岡県	浜名郡新居町	「青パイ隊」プロジェクトの推進(機材配備)	7,400,000
(社)	大阪フィルハーモニー協会	大阪府	大阪市	海の日記念チャリティコンサート - がん教育基金支援 -	4,000,000
(特)	和歌浦湾海業	和歌山県	和歌山市	和歌浦湾沿岸海域の藻場造成事業	1,710,000



●その他、海や船に関する事業

(単位:円)

団体種別略称	団体名	団体都道府県名	団体住所市区町村	事業名	助成金額
(特)	しまの大学	愛媛県	上島町	地域における課題解決と活性化のための、島内外をつなぐプラットフォームの構築	16,380,000
(財)	九州運輸振興センター	福岡県	福岡市	九州圏における海運振興関連施設整備事業 離島航路共通予備船の整備に関する調査研究等	91,300,000
(財)	九州交響楽団	福岡県	福岡市	海の日記念チャリティコンサート - 子どもにやさしいまちづくりネットワーク支援 -	4,000,000
(特)	日本青バイ隊	佐賀県	伊万里市	「青バイ隊」プロジェクトの推進(ネットワーク構築)	2,960,000
(特)	おちかアイランドツーリズム協会	長崎県	北松浦郡	海の文化と島の生活を基盤にした教育プログラムの開発	6,510,000
(特)	海の自然史研究所	沖縄県	中頭郡北谷町	海を学ぶ体験型科学教育プログラムの開発及び普及体制の強化	6,120,000

計 144団体 220事業 7,177,020,000円

●海外での海洋関係事業

本事業は、年度内に随時審査を行い助成先を決定するため、2010年度の助成実績を掲載いたします。

団体名	所在地	事業名	助成金額	単位	レート	円換算
国際連合 法務部 海洋法課 (DOALOS)	アメリカ	世界の海洋秩序の発展に向けた人づくり事業 (2011-2012期)	580,261	米ドル	83.34	48,358,951
カーディフ大学国際船員研究センター (SIRC)	イギリス	世界的な海事社会科学の専門教育のための奨学金プロジェクト (2011期-2012期)	374,000	ポンド	134.57	50,329,180
大洋水深総図委員会 (GEBCO)	イギリス	大洋水深総図における専門家の育成 (2011期-2012期)	555,000	米ドル	83.31	46,237,050
国際海洋観測機構 (POGO)	カナダ	海洋観測研究所の連携体制を利用した専門家の育成と国際共同研究の促進 (2011-2012期)	522,800	米ドル	83.31	43,554,468
ブリティッシュコロンビア大学 (UBC)	カナダ	「Nereus」プログラム (準備年・第1期:2010期-2014期)	4,750,000	米ドル	83.34	395,865,000
世界海事大学 (WMU)	スウェーデン	日本財団寄附講座の設置 (2011-2012期)	430,360	ユーロ	116.34	50,068,082
国際海洋法裁判所 (ITLOS)	ドイツ	国際海洋紛争解決を扱う専門家の育成 (2011期-2012期)	230,000	ユーロ	116.34	26,758,200
国際海事大学連合 (IAMU)	日本	国際海事大学連合の活動推進:ネットワーク構築 2011年度	49,580,000	円	-	49,580,000
		国際海事大学連合の活動推進:人材育成 2011年度	452,000	米ドル	83.31	37,656,120
国際海事法研究所 (IMLI)	マルタ	発展途上国の海事・海洋法関係者に対する奨学金プロジェクト (2011期-2012期)	340,000	ユーロ	116.34	39,555,600

計 9団体 10事業 787,962,651円



～海外における人道活動や人材育成への支援～
本事業は、年度内に随時審査を行い助成先を決定するため、2010年度の助成実績を掲載いたします。

●BHN (ベーシック・ヒューマン・ニーズ)を充足する事業

団体名	所在地	事業名	助成金額	レート	円換算
国際視覚障害者教育評議会 (ICEVI)	アメリカ	アジア太平洋4ヶ国における視覚障害者学生の高等教育支援プロジェクト	178,100米ドル	83.21	14,819,701円
ベトナム障害者援助組織 (VNAH)	アメリカ	ベトナムの障害者のための義肢装具支援	463,800米ドル	83.02	38,504,676円
ロチェスター工科大学 / 国立ろう工科大学	アメリカ	ASEAN地域を対象にした聴覚障害者の中等教育環境整備のための国際ネットワークの推進	599,900米ドル	83.02	49,803,698円
アメリカン大学 (AU)	アメリカ	障害と公共政策サイバー大学院 (IDPP) の開設と運営	1,999,900米ドル	83.02	166,031,698円
カンボジア・トラスト	イギリス	カンボジアの障害者に対する高等教育の普及	99,900米ドル	85.97	8,588,403円
		フィリピンにおける義肢装具士養成プログラムの推進	949,700米ドル	83.11	78,929,567円
ナショナルフォーラム	インド	インドのハンセン病患者、回復者による会議 “ナショナルフォーラム” の開催	168,700米ドル	92.77	15,650,299円
ハンセン病と人権プロジェクト	インドネシア	ASEANハンセン病患者・回復者の尊厳回復支援	203,000米ドル	92.77	18,832,310円
ジャカルタ義肢装具士養成学校	インドネシア	インドネシアにおける義肢装具士養成プログラムの推進	1,037,700米ドル	85.97	89,211,069円
カンボジア義肢装具士養成学校 (CSPO)	カンボジア	アジア義肢装具士養成学校ネットワーク (APOS) の戦略的運営	55,500米ドル	85.97	4,771,335円
カンボジア伝統陶器プロジェクト	カンボジア	カンボジア伝統陶器復興プロジェクト	17,540,000円		
カンボジア視覚障害者協会 (ABC)	カンボジア	カンボジア視覚障害者協会の強化活動の推進	98,000米ドル	85.97	8,425,060円
カンボジア伝統医療協会	カンボジア	カンボジア国立伝統医療学校における人材育成及び知識の集約	305,700米ドル	88.82	27,152,274円
教育支援センター絆	カンボジア	カンボジアにおける教員育成事業	245,600米ドル	83.82	20,586,192円
		カンボジアにおけるラジオ放送による中学校英語教育の実施	363,000米ドル	83.11	30,168,930円
バイオンラジオテレビ財団	カンボジア	カンボジア水祭り事故に対する緊急援助	30,000米ドル	83.81	2,514,300円
ケニアろう協会	ケニア	聴覚障害者学生フォローアップ事業:ケニアのろう教育現場におけるケニア手話の普及・啓発活動の実施	30,200米ドル	92.77	2,801,654円
国際熱帯農業研究センター (CIAT)	コロンビア	ラオス、カンボジア及びミャンマーにおけるキャッサバ農法普及プロジェクト	516,200米ドル	83.02	42,854,924円
笹川アフリカ協会 (SAA)	スイス	SG2000農業プロジェクトの推進	6,800,000米ドル	92.24	627,232,000円
笹川アフリカ農業普及教育協会 (SAFE)	スイス	笹川アフリカ農業普及教育プログラム	1,800,000米ドル	83.14	149,652,000円
世界保健機関 (WHO)	スイス	ハンセン病制圧プロジェクトの推進	2,078,000米ドル	83.11	172,702,580円
スリランカ義肢装具士養成学校 (SLSPO)	スリランカ	スリランカにおける義肢装具士養成プログラムの推進	740,500米ドル	85.97	63,660,785円
セワランカ財団	スリランカ	スリランカ北部紛争復興地域における小中学校の改修	1,310,200米ドル	83.31	109,152,762円
アジア太平洋障害者センター財団 (APCD財団)	タイ	ASEAN諸国の障害と公共政策の当事者専門家育成	518,400米ドル	85.97	44,566,848円
障害者インターナショナルアジア太平洋評議会 (DPIAP)	タイ	ベトナムにおける障害者の自立生活支援プロジェクト	42,695,000円		
		タイに対する福祉車両の寄贈	31,150,000円		
タイ保健省	タイ	タイにおける伝統医療普及モデルプロジェクトの実施	285,000米ドル	85.97	24,501,450円
香港中文大学 (CUHK)	中国	アジア太平洋における手話言語学の普及及び手話辞書の作成	654,500米ドル	85.97	56,267,365円
		アジアの若手聴覚障害者リーダーのネットワーク構築を目的としたろう者ダイアログの開催	190,200米ドル	92.77	17,644,854円
(特)アジア教育友好協会 (AEFA)	日本	アジアの僻地における小学校建設	76,500,000円		
(特)日本ASL協会	日本	日本財団聴覚障害者海外奨学金事業	43,968,000円		
モルハン (MORHAN)	ブラジル	ブラジルにおけるハンセン病無料電話相談サービスの提供	166,700米ドル	83.11	13,854,437円
ドンナイ省教員養成大学	ベトナム	ベトナムの聴覚障害者に対する中高等教育の普及	17,500米ドル	83.11	1,454,425円
国立師範短期大学	ベトナム	ベトナム北部のろう者に対する中高等教育の普及	36,900米ドル	92.77	3,423,213円
セダナー (Saetanar)	ミャンマー	ミャンマーにおける学校建設を通じた地域開発	750,000米ドル	83.11	62,332,500円
ミャンマー保健省伝統医療局	ミャンマー	ミャンマー伝統医療普及プロジェクトの推進	109,700米ドル	83.10	9,116,070円
ワンセンブルウ・モンゴリア	モンゴル	モンゴル伝統医療普及プロジェクトの推進	99,000,000円		

●非政府部門の交流による相互理解の促進と国際的ネットワークを構築する事業

団体名	所在地	事業名	助成金額	レート	円換算
ア・パブリック・スペース	アメリカ	現代日本文学作品集の出版・寄贈	35,000米ドル	83.11	2,908,850円
イーストアングリア大学 国際文芸翻訳センター	イギリス	現代日本理解促進のための 翻訳者育成・ネットワーク化事業	53,400英ポンド	132.44	7,072,296円
グレートブリテン・ササカワ財団	イギリス	英国の大学における日本研究の推進	450,000英ポンド	133.82	60,219,000円
ロンドン大学 東洋アフリカ学院	イギリス	現代日本理解促進のための 翻訳者育成・ネットワーク化事業	56,800英ポンド	132.44	7,522,592円
サイドバイサイド インターナショナル	カンボジア	カンボジアに対する中古福祉車両の寄贈	117,400米ドル	83.21	9,768,854円
平和大学	コスタリカ	平和大学における平和構築のアジア人専門家の育成	1,645,600米ドル	85.97	141,472,232円
情報資源センター	シンガポール	アジアの次世代リーダーのネットワーク構築を 目的とした日本財団リトリート会議の開催	382,200米ドル	92.77	35,456,694円
		アジアの次世代リーダーのネットワーク構築を 目的とした日本財団リトリート会議への聴覚障害者 および視覚障害者の参加	50,100米ドル	83.02	4,159,302円
アジア・ダイアローグ・ ソサエティ	シンガポール	東南アジア諸国連合 (ASEAN) と 民間非営利組織 (NGO) との共同事業の強化支援	100,000米ドル	92.77	9,277,000円
サカンジナピア・ニッポン・ ササカワ財団	スウェーデン	ストックホルムにおける原爆展及び軍縮に関する シンポジウムの開催	140,000ユーロ	112.51	15,751,400円
日本スリランカ技術文化協会	スリランカ	スリランカ日本文化センターのコンピューター等の再整備	10,100米ドル	92.77	936,977円
チュロンコン大学アジア研究所	タイ	日本財団アジア・フェローシップ (API フェローシップ) の推進	1,484,900米ドル	83.02	123,276,398円
フォーラム 2000 財団	チェコ	フォーラム 2000 会議の開催	364,300ユーロ	112.51	40,987,393円
北京大学国際関係学院	中国	北京大学による国際関係学の拠点作りと人材育成	68,560,000円		
日本・トルコ・中央アジア友好協会 (JATCAFA)	トルコ	中央アジア出身のトルコ留学生のための 奨学金支給及び日本理解促進事業	328,000米ドル	85.97	28,198,160円
ASEAN コンサート実行委員会	日本	ASEAN オーケストラによるコンサートの開催	25,000,000円		
(財) 海外日系人協会	日本	日系人に対する日本留学の機会の提供	109,000,000円		
日系ユースネットワーク事務局	日本	日系ユースネットワークの構築	36,000,000円		
技能ボランティア海外派遣協会 (NISVA)	日本	日本人技能シニアボランティアの海外派遣	89,500,000円		
日中交流研究所	日本	第6回中国人の日本語作文コンクール表彰式の開催 及び受賞作品集の出版	3,000,000円		
(特) フィリピン日系人リーガル サポートセンター (PNLSC)	日本	フィリピン残留日本人2世の戸籍回復支援	32,619,000円		
ディレクトフォース	日本	在日の日本財団奨学生に対する研修・ネットワーク事業	2,766,000円		
バングラデシュ・スカラーシップ・ カウンシル	バングラデシュ	バングラデシュの大学生を対象とした奨学金事業の推進	34,700米ドル	83.34	2,891,898円
クライシス・マネージメント・ イニシアティブ	フィンランド	パレスチナ安定化に向けた対話の促進と共通課題の提起	94,200ユーロ	110.47	10,406,274円
サモラノ・パンアメリカン農業大学	ホンデュラス	中南米における農業リーダー育成のための 奨学金プログラムの推進	395,700米ドル	83.02	32,851,014円
ヨルダン王立科学協会 (RSS)	ヨルダン	西アジア北アフリカ (WANA) 地域フォーラムの開催	500,000米ドル	92.77	46,385,000円

計 59 団体 63 事業 3,232,046,713 円

日本財団の概要

代表者：会長 笹川陽平

所在地：〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

総合案内 (コールセンター) Tel.03-6229-5111 Fax.03-6229-5110

公式サイト <http://www.nippon-foundation.or.jp>

携帯 <http://tnfd.jp>

設立年月日：1962年 (昭和37年) 10月1日

日本財団は、ボートレース事業からの拠出金をもとに、船舶の技術開発や海上の安全確保、福祉や教育の向上、人道援助や人材育成を通じた国際貢献など、人々のよりよい暮らしを支える活動を推進しています。

基本財産：288億円 (2011年3月末日)

人員構成：役員10名 評議員9名

職員99名 / 平均年齢33.2歳 (2011年4月1日現在)

役員		
役職名	氏名	
会長	笹川陽平	元・日本財団 理事長
理事長	尾形武寿	元・日本財団 常務理事
常務理事	海野光行	元・日本財団 海洋グループ長
常務理事	大野修一	元・日本財団 国際部長
常務理事	佐藤英夫	元・日本財団 国際協力グループ長
常務理事	田南立也	元・日本財団 国際協力グループ長
常務理事	前田 晃	元・日本財団 経営企画グループ長
監事	金子 明	元・日本財団 総務グループ長
監事	三浦一郎	元・日本財団 常務理事
監事 (非常勤)	吉田 博	税理士
計10名		

評議員	
氏名	
新井哲二	丸亀市長
河村幹夫	多摩大学統合リスクマネジメント研究所 所長
下村のぶ子	(株)海竜社 代表取締役社長
田久保忠衛	杏林大学 名誉教授
千野境子	産経新聞社 特別記者
皆川浩二	(財)日本モーターボート競走会 会長
屋山太郎	政治評論家
米長邦雄	(公社)日本将棋連盟 会長・永世棋聖
渡部昇一	上智大学 名誉教授
計9名	

(五十音順 / 敬称略)

アドバイザー会議委員			
氏名		氏名	
小川健児	(一財)日本海事協会 名誉会長	松井義雄	読売新聞東京本社 相談役
鈴木富夫	出版倫理協議会 議長	マリ・クリスティーヌ	異文化コミュニケーション
高木 剛	(財)国際労働財団 理事長	三好正也	(株)ミヨシ・ネットワークス代表取締役 会長
土井勝二	日本空港ビルデング(株) 代表取締役副社長		(元・経団連事務総長)
福永達夫	(社)日本モーターボート選手会 会長	山口果林	女優
計9名			

(五十音順 / 敬称略)

日本財団の活動資金について

BOAT RACEの売上金の2.5%

日本財団は、地方自治体が主催するボートレース事業からの拠出金をもとに活動しています。

拠出金は、ボートレースの売上金（舟券の売上金）の約2.5%にあたるもので、その配分は「モーターボート競走法（1951年制定）」の定めに従い厳正に行われています。

まず、売上金の75%が、的中舟券を購入されたお客さまに払い戻されます。残りの25%は主催者である地方自治体の管理下に置かれ、約1.3%が（財）日本モーターボート競走会に、約2.5%が日本財団に、約1.1%が地方公共団体金融機構に交付されます。ここからボートレース場施設の管理費や選手への賞金など開催経費を除いた残額が、自治体の収益となり、公共サービスの充実のために役立てられます。

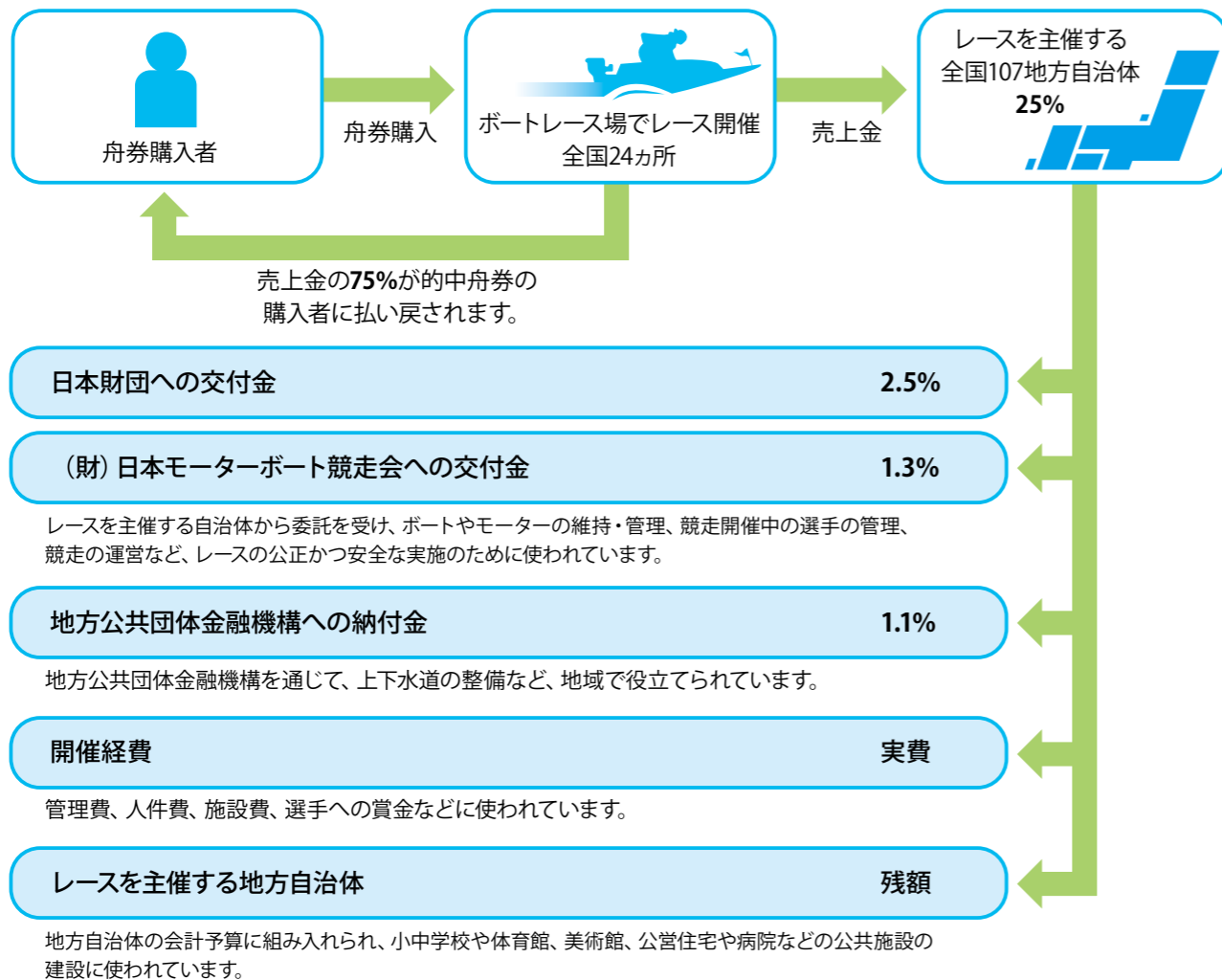
BOAT RACEについて

1951年に制定されたモーターボート競走法に基づき、地方自治体が主催者となって全国24のボートレース場でレースを開催しています。

レースの運営は、主催者の自治体から委託を受けて（財）日本モーターボート競走会が行っています。

BOAT RACEの売上金の流れ

(2011年4月1日現在)



日本財団への交付金について

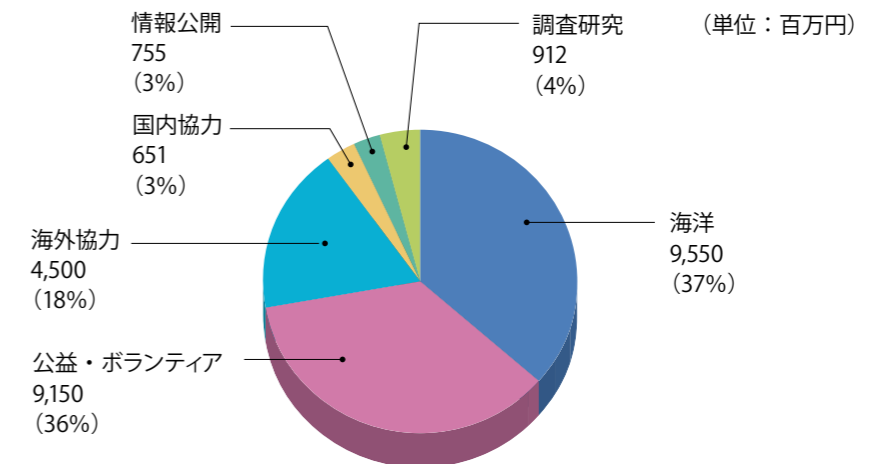
参考 (1) 受取交付金と受取利息の推移



年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
受取交付金	39,749	36,104	32,174	32,266	31,625	27,518	26,824	24,669	22,988	21,592
受取利息	1,021	760	875	615	739	898	976	833	773	731

※ 2010年度は見込み額。2011年度は予算額。 (単位：百万円)

参考 (2) 2011年度 事業予算内訳



計 25,518 百万円 (貸付業務費を除く)

2011年度 収支予算

2011年4月1日から2012年3月31日まで (単位:千円)

科 目	2011年度 予算額	2010年度 予算額	2010年度比 増減率(%)	2011年度 構成比(%)
I一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	130,268	-	-	0.6
基本財産利息	130,268	-	-	0.6
特定資産運用益	117,452	-	-	0.5
特定資産利息	117,452	-	-	0.5
受取交付金	21,371,776	-	-	93.7
受取交付金振替額	21,371,776	-	-	93.7
事業収益	688,209	-	-	3.0
賃貸料収益	207,342	-	-	0.9
貸付利息	480,867	-	-	2.1
雑収益	511,968	-	-	2.2
受取利息	1,968	-	-	0.0
有価証券運用収益	0	-	-	0.0
為替差益	0	-	-	0.0
雑収益	0	-	-	0.0
雑収益振替額	510,000	-	-	2.2
経常収益計	22,819,673	-	-	100.0
(2) 経常費用				
事業費	26,934,811	-	-	94.2
貸付業務費	46,500	-	-	0.2
補助金	18,700,000	-	-	65.4
海外協力援助費	4,500,000	-	-	15.7
国内協力援助費	651,000	-	-	2.3
情報公開費	755,300	-	-	2.6
調査研究費	912,000	-	-	3.2
特別協賛金	0	-	-	0.0
ビル運営費	252,573	-	-	0.9
事業管理費	1,117,438	-	-	3.9
管理費	1,129,856	-	-	4.0
給与費	378,356	-	-	1.3
役員報酬	161,240	-	-	0.6
職員給	171,010	-	-	0.6
嘱託給	42,070	-	-	0.1
臨時雇賃金	4,036	-	-	0.0
福利厚生費	76,389	-	-	0.3
役員退職慰労金	74,805	-	-	0.3
退職給付費用	15,184	-	-	0.1
旅費交通費	56,965	-	-	0.2
事務諸費	238,162	-	-	0.8
諸謝金	39,988	-	-	0.1
調査費	8,750	-	-	0.0
減価償却費	28,815	-	-	0.1
雑費	212,442	-	-	0.7
雑支出	520,000	-	-	1.8
為替差損支出	0	-	-	0.0
雑支出	520,000	-	-	1.8
経常費用計	28,584,667	-	-	100.0
当期経常増減額	△ 5,764,994	-	-	-
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	-	-	-
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	-	-	-
当期経常外増減額	0	-	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,764,994	-	-	-
法人税、住民税及び事業税支出	0	-	-	-
税引後当期一般正味財産増減額	△ 5,764,994	-	-	-
当期一般正味財産増減額	225,160	-	-	-
一般正味財産期首残高	1,538,110	-	-	-
一般正味財産期末残高	1,763,270	-	-	-
II 指定正味財産増減の部				
受取交付金(指)	21,591,776	-	-	-
受取交付金(指)	21,591,776	-	-	-
一般正味財産への振替額	△ 26,630,472	-	-	-
当期指定正味財産増減額	△ 5,038,696	-	-	-
指定正味財産期首残高	259,144,126	-	-	-
指定正味財産期末残高	254,105,430	-	-	-
III 正味財産期末残高	255,868,700	-	-	-

組織図

